Canon

PowerShot SX280 HS

カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- CD-ROM 内の電子マニュアル（PDF 形式）もあわせてご覧ください（29）。

日本語

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

カメラ

バッテリーパック
NB-6L

バッテリーチャージャー
CB-2LY

インターフェースケーブル
IFC-400PCU

リストストラップ
WS-DC11

DIGITAL CAMERA
Solution Disk *
（CD-ROM）

使用説明書
（本書）

保証書

サポートガイド

* ソフトウェアと電子マニュアルが入っています（□29）。
• メモリーカードは付属されていません。

使えるカード（市販品）について

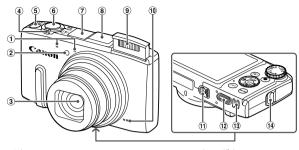
以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*

* SD規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

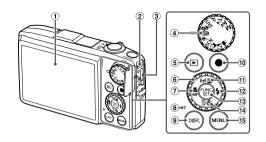
お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

各部のなまえと記載について

① マイク
② ランプ（前面）
③ レンズ
④ ズームレバー
　撮影時：＜[♠]（望遠）＞／
　　　　　＜[♠♠♠]（広角）＞
　再生時：＜Q（拡大）＞／
　　　　　＜▦（インデックス）＞
⑤ 電源ボタン
⑥ シャッターボタン
⑦ Wi-Fi 通信部
⑧ GPS 信号受信部
⑨ ストロボ
⑩ スピーカー
⑪ 三脚ねじ穴
⑫ DC カプラー端子カバー
⑬ カード／バッテリー収納部ふた
⑭ ストラップ取り付け部

- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。
- (!)：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ✎：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。

静止画：静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

動画：動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

① 画面（液晶モニター）
② A / V OUT（映像／音声出力）・DIGITAL（デジタル）端子
③ HDMI™ 端子
④ モードダイヤル
⑤ <▶（再生）> ボタン
⑥ コントローラーホイール
⑦ <🌷（マクロ）> ／ <MF（マニュアルフォーカス）> ／左ボタン
⑧ ランプ（背面）
⑨ <DISP.（ディスプレイ）> ボタン
⑩ 動画ボタン
⑪ <±(露出補正)>／<((ψ))(Wi-Fi)>／上ボタン
⑫ <⚡（ストロボ）> ／右ボタン
⑬ FUNC./SET（ファンクション／セット）ボタン
⑭ <セルフタイマー（セルフタイマー）> ／<🗑（1 画像消去）> ／下ボタン
⑮ <MENU（メニュー）> ボタン

● ホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の 操 作 を 除 き、<▲>、<▼>、<◀>、<▶> と同じ操作ができます。

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。

<▲> 背面 ⑪ 上ボタン　　<▼> 背面 ⑭ 下ボタン
<◀> 背面 ⑦ 左ボタン　　<▶> 背面 ⑫ 右ボタン
<◎> 背面 ⑥ コントローラーホイール

目次

やりたいこと目次

撮る

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- **ストロボを人の目に近づけて発光しない。**

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1 m 以上離れてください。

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**

ストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **指定外の電源は使わない。**
- **分解、改造したり、加熱しない。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えない。**
- **落下などで破損したときは、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **水や海水などの液体で濡らさない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**

感電、火災の原因となります。

万が一、液体や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、その後必ずバッテリーを取り出してください。

バッテリーチャージャーが液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- **指定外のバッテリーは使わない。**
- **バッテリーは火に近づけたり、火の中に投げ込まない。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。**

- **電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。**

バッテリーが破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、感電の原因となることがあります。万が一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- **カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。**

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠ 注意　傷害を負う可能性がある内容です。

- **ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。**
- **レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。**

けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- **液晶モニターに強い衝撃を与えない。**

液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

- **ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。**

やけどや故障の原因となることがあります。

- **次の場所で使用・保管しない。**
  - **直射日光のあたるところ**
  - **40℃を超える高温になるところ**
  - **湿気やホコリの多いところ**

バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。
カメラやバッテリーチャージャーが熱により変形することがあります。

- **長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。**

- **ストロボが下がるときに、指をはさまないようにする。**

けがの原因となることがあります。

注意 物的損害を負う可能性がある内容です。

- **カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けない。**

撮像素子が損傷することがあります。

- **砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。**
- **ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。**

故障の原因となることがあります。

- **ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。**

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- **使用しないときは、カメラからバッテリーを取り出して保管する。**

カメラにバッテリーを入れたままにしておくと、液漏れにより故障の原因となることがあります。

- **バッテリーを廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。**

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- **バッテリーチャージャーは、使用しないときや充電が終わったときは、コンセントから外す。**
- **布などをかけたまま充電しない。**

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- **ペットの近くにバッテリーを置かない。**

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- **ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。**

液晶モニターの破損の原因となります。

- **かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。**
- **ストラップにアクセサリーをつけない。**

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。

基本編

準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込むまでの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける

ストラップを取り付ける

- ①ストラップの先端を取り付け部に通して、②通した先端にストラップを通します。

カメラを構える

- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボが上がっているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。

1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの ▲ をあわせて、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付けます。

2 充電する

- プラグを①の方向へおこして、②コンセントに差し込みます。
- ▶ 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- ▶ 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。

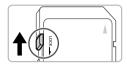
3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外します。

- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(□296)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240V 50/60Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。
なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（□234）することをおすすめします。

1 カードのスイッチを確認する

- スイッチがあるカードでは、スイッチが下（「LOCK」側）になっていると撮影できません。「カチッ」と音がするまでスイッチを上に動かします。

2 ふたを開ける

- ①の方向にふたを動かして、②の方向へふたを開けます。

端子部　バッテリーロック

3 バッテリーを入れる

- バッテリーを図の向きにして、バッテリーロックを矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。

4 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。

5 ふたを閉める

- ふたを①の方向にたおして押さえたまま、②の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（□296）を参照してください。

バッテリーとカードを取り出す

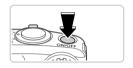
バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- ▶ バッテリーが出てきます。

カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。
- ▶ カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに［日付 / 時刻］画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。なお、撮影した日時を画像に写し込むこともできます（📖75）。

1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶［日付 / 時刻］画面が表示されます。

2 日付／時刻を設定する

- <◀> か <▶> を押して項目を選びます。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します。
- すべての項目を設定したら、<FUNC/SET> を押します。

3 自宅のエリアを設定する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- <FUNC/SET> を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。

- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに［日付 / 時刻］画面が表示されます。正しく設定してください。

- 手順 2 で［☀OFF］を選び、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［☀］にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。

1 メニューを表示する

- <MENU> ボタンを押します。

2 ［日付 / 時刻］を選ぶ

- ズームレバーを動かして、［ff］タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［日付 / 時刻］を選び、<FUNC./SET> を押します。

3 日付／時刻を変える

- □20 の手順 2 の操作で設定します。
- <MENU> ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプターキット（別売）(□242）を使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに［日付 / 時刻］画面が表示されます。□20 の手順で正しく設定してください。
- GPS 機能で自動更新することもできます（□55）。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。

1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。

2 設定画面を表示する

- <FUNC/SET> を押したまま、すぐに <MENU> ボタンを押します。

3 言語を設定する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して言語を選び、<FUNC/SET> を押します。
- ▶ 表示言語が設定され、設定画面が消えます。

- 手順 2 の操作で <FUNC SET> を押してから、<MENU> ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは <FUNC SET> を押して時計表示を消して、もう一度手順 2 の操作を行います。
- 言語設定は、<MENU> ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[ƳŤ] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

使ってみる

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。

2 ［AUTO］モードにする

- モードダイヤルを［AUTO］にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを <[♠]> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、<♠♠♠> 側に押すと小さくなります。

4 撮影する

静止画を撮る

①ピントを合わせる

● シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

▶ 暗いところではストロボが自動で上がります。

②撮影する

● シャッターボタンを深く押し込みます。

▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボが上がっているときは、自動的にストロボが光ります）。

● シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。

▶ 撮影した画像は、次の撮影ができるようになるまでの間だけ表示されます。

動画を撮る

①撮影をはじめる

● 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、［●録画］と撮影時間が表示されます。

▶ 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。

▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。

● 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

撮影時間

②撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。

- モードダイヤルを［］にすると、静止画を撮影するだけで、撮影直前のシーンが動画として自動で記録され、1 日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます（プラスムービーオートモード（□63））。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。

1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- <◀> を押すか <◎> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<▶> を押すか <◎> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <◀> か <▶> を押したままにすると、画像が速く切り換わります。

- <◎> を速く回すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◎> を回して画像を選びます。
- <FUNC/SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。

- 動画では、［SET▶］が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- <FUNC./SET> を押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［▶］を選び、もう一度 <FUNC./SET> を押します。
- ▶ 動画が再生され、再生が終わると［SET▶］が表示されます。
- 音量は <▲> か <▼> を押して調節します。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

2 消す

- <▼> を押します。
- ［消去?］が表示されたら、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［消去］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［キャンセル］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

- 画像をまとめて消すこともできます（📖171）。

付属の CD 内のソフトウェアと電子マニュアルを使う

ここでは、付属の DIGITAL CAMERA Solution Disk（CD-ROM）（📖2）に入っているソフトウェアや電子マニュアルの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

付属の CD 内のソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

CameraWindow（カメラウィンドウ）

- 画像の取り込みやカメラの各種設定

ImageBrowser EX（イメージブラウザー イーエックス）

- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集

オートアップデート機能について

ソフトウェアは、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などをインターネットを使って行います（一部のソフトウェアは除く）。そのため、インターネットにつながるパソコンへインストールしてお使いください。

- この機能をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

電子マニュアルについて

カメラの使用説明書

- カメラを詳しく知って、使いこなしたいときに参照してください。

ソフトウェアの使用説明書

- ソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下の通りです。また、電子マニュアルをご覧になるには、別途 Adobe Reader が必要です。

	Windows	Macintosh
OS *1	Windows 8 Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3	Mac OS X v10.6 Mac OS X v10.7 Mac OS X v10.8 *2
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること	
CPU	静止画 1.6 GHz 以上 動画 Core i7 2.8 GHz 以上 *3	静止画 Mac OS X v10.7 – v10.8： Core 2 Duo 以上 Mac OS X v10.6： Core Duo 1.83 GHz 以上 動画 Core i7 2.8 GHz 以上 *3
RAM	静止画 Windows 8 (64 bit)、 Windows 7 (64 bit)：2 GB 以上 Windows 8（32 bit)、 Windows 7（32 bit)、 Windows Vista：1 GB 以上 Windows XP：512 MB 以上	静止画 Mac OS X v10.7 – v10.8： 2 GB 以上 Mac OS X v10.6：1 GB 以上 動画 2 GB 以上
インターフェース	USB および Wi-Fi	
ハードディスク空き容量	440 MB 以上 *4	550 MB 以上 *4
ディスプレイ	1,024 x 768 ドット以上	

*1 Wi-Fi 接続を使ってパソコンに画像を送れるのは、Windows 8、Windows 7 SP1、Mac OS X v10.6.8、Mac OS X v10.7、Mac OS X v10.8.2 以降のみです。

*2 Apple 社の Web サイトで公開されている Mac OS X v10.8 の対応モデルをあわせてご確認ください。

*3 ImageBrowser EX で［1920 60］の動画を再生するときの推奨値です。

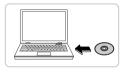
*4 Silverlight 5.1（最大 100 MB）を含みます。また、Windows XP では Microsoft .NET Framework 3.0(最大500 MB)以上のインストールが必要です。そのためお使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトをご確認ください。

インストールする

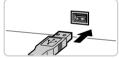
ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。なお、ソフトウェアはオートアップデート機能により、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などが行われます（一部のソフトウェアは除く）ので、インターネットにつながるパソコンへインストールしてください。

用意するもの

- パソコン
- インターフェースケーブル（□2）
- 付属の CD-ROM（DIGITAL CAMERA Solution Disk）（□2）

1 CD をパソコンのドライブに入れる

- 付属の CD（DIGITAL CAMERA Solution Disk）（□2）をパソコンのドライブに入れます。
- Macintosh では、CD を入れるとデスクトップ上に表示される CD アイコンをダブルクリックして開き、表示される［ ］をダブルクリックします。

2 インストールをはじめる

- ［おまかせインストール］をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。

3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたらカメラをパソコンとつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き（①）、付属のインターフェースケーブル（□2）の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます（②）。

- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

4 インストールする

- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作を行い、インストールを進めます。
- ▶ 最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などを行うためインターネットへつながります。そのため、お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の[完了]または[再起動]をクリックして、デスクトップ画面が表示されたら CD を取り出します。
- カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。

- インターネットに接続していないときは、次のような制限事項があります。
  - 手順 3 の画面は表示されません。
  - 一部の機能がインストールされないことがあります。
- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- 付属のCD に ImageBrowser EX が入っているカメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加するため、それぞれの CD とカメラを使い、表示される画面にしたがってインストールしてください。

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。

1 カメラとパソコンをつなぐ

- 「インストールする」の手順 3（📖32）の操作でカメラとパソコンをつなぎます。

2 電源を入れて CameraWindow（カメラウィンドウ）を表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- Macintosh では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。

- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で［ ］のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。

- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。

- ［ ］をダブルクリックします。

CameraWindow

3 画像を取り込む

- ［カメラ内の画像の取り込み］をクリックしたあと、［未転送画像を取り込む］をクリックします。
- ▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの <▶> ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」（29）を参照してください。

- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの［ ］をクリックします。
- Windows Vista または Windows XP をお使いのときは、手順 2 でカメラの電源を入れるとパソコンに表示される画面で［画像をキヤノンカメラからダウンロードします］をクリックして、CameraWindow を表示します。この操作で画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］を選びます。
- Macintosh で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
  - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
  - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
  - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
  - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
  - 動画編集など、ソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。
  - GPS ログファイル（52）は正しく取り込まれないことがあります。

電子マニュアルを使う

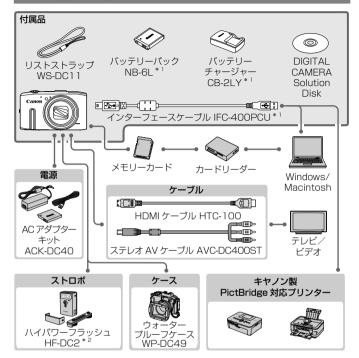
カメラの使用説明書

- デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックすると参照することができます。

ソフトウェアの使用説明書

- 各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

- システム構成（□30）を満たしていないパソコンでは、電子マニュアルがインストールできないことがあります。ただし、Adobe Reader が対応しているパソコンのときは、「カメラの使用説明書」を参照することができますので、そのときは、CD-ROM 内の「Readme」フォルダに保存されている PDF 形式のファイルを直接パソコンにコピーしてご覧ください。

システムマップ

＊1 別売りも用意されています。
＊2 ハイパワーフラッシュ HF-DC1 もお使いになれます。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
アクセサリーは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

活用編

1

カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた

撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。

再生モード

- <▶> ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- <▶> ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。

- 撮影モードの状態で <▶> ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押し（📖41）すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます（ストロボが上がっているときは、ストロボも下がります）。レンズが収納されているときは、<▶> ボタンを押すと電源が切れます。

節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（📖41）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（📖232）。
- パソコンとつないでいるとき（📖34）、Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（📖187）は、節電機能は働きません。

シャッターボタンの押しかた

ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。
なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。

1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。

2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

▶ シャッター音が鳴り、撮影されます。

- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。

- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。

ライブビューコントロールモード
かんたんな操作で明るさや色あいを自分好みに設定して撮影できます（□96）。

オートモード
プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影ができます（□24、60、63）。

スポーツモード
動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます（□98）。

シーンモード
撮影シーンに最適な撮影ができます（□100）。

クリエイティブフィルターモード
いろいろな効果をつけた撮影ができます（□104）。

P、Tv、Av、M モード
各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます（□119、143）。

動画モード
動画が撮影できます（□116）。
なお、動画モード以外でも動画ボタンを押すだけで動画撮影できます。

マナーモード
ストロボを光らせず、音が鳴らない設定で撮影できます（□97）。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、<DISP.> ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」（□276）を参照してください。

情報表示あり　　情報表示なし

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」（□152）を参照してください。

FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（□282～285）や再生モード（□293）によって変わります。

1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- <FUNC./SET> を押します。

項目

メニュー項目

2 メニュー項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回してメニュー項目を選び、<FUNC./SET> か <▶> を押します。
- メニュー項目によっては、<FUNC./SET> や <▶> を押すだけで設定される機能や画面が切り換わる機能もあります。

3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- ［DISP.］が表示される項目では、<DISP.> ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、<◀> を押します。

4 設定を終える

- <FUNC./SET> を押します。
- ▶ 手順 1 で <FUNC./SET> を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます（□239）。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [ ] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお､表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード（□286 ～ 293）によって変わります。

1 メニューを表示する

- <MENU> ボタンを押します。

2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押してタブが選ばれている状態にしたあと、<◀> か <▶> を押してタブを選ぶこともできます。

3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、<FUNC/SET> か <▶> を押して画面を切り換えたあと、さらに <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- <MENU> ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。

4 内容を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して内容を選びます。

5 設定を終える

- <MENU> ボタンを押すと、手順 1 で <MENU> ボタンを押す前の画面に戻ります。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます（□239）。

ランプの表示

カメラ背面のランプ（□5）は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時（□34）、画面消灯時（ディスプレイオフ）（□40、232）
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中（□144、146）、Wi-Fi 接続中／データ送受信中、ロガー機能動作時（□52）

- ランプ（背面）が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。

- <(FUNC SET)> を押したままにします。
- ▶ 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、<◀> か <▶> を押すか <(◎)> を回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと時刻表示が消えます。

- <(FUNC SET)> を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

2

GPS 機能を使う

GPS 機能の基本操作や機能を知って使いこなす

GPS 機能を使う

GPS 衛星から受信した信号を元に、カメラの位置情報（緯度／経度／標高）を撮影した静止画や動画に記録したり、位置情報を画像とは別のデータとして記録できます。また、カメラの時計機能の自動あわせもできます。
なお、GPS 機能を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(□20）で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。

GPS 機能を使うときは、次のことに注意してください。
- 国や地域によっては、GPS の使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。
- GPS 衛星からの信号を受信するため、電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS 機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため GPS 機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPS ログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

- GPS は、Global Positioning System（グローバル ポジショニング システム）の略です。

GPS 機能を使うときの環境とカメラの構えかた

GPS 信号受信部

- 空が見通せる屋外にカメラを持っていきます（屋内などの「GPS 衛星からの信号が受信できない環境」(□49）では正しく機能しません)。
- 図のようにカメラを正しく構えることで、GPS 衛星からの信号が受信しやすくなります。
- GPS 信号受信部の上に、指や物などをのせないようにします。

ロガー機能を使うときのカメラの持ち歩きかた

GPS 信号受信部をできるだけ空に向けた状態で持ち歩いたり、バックなどに入れて持ち歩くときは、GPS 信号受信部が空に向くような状態で、できるだけ外側に収納することで、GPS 衛星からの信号が受信しやすくなります。

GPS 衛星からの信号が受信できない環境

- 次のような環境では GPS 衛星からの信号が正しく受信できないため、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。

  ● 屋内 ● 地下 ● ビルなどの近くや谷間 ● トンネルや森の中 ● 高圧電線や 1.5 GHz 帯の携帯電話などの近く ● かばんなどにカメラをいれたとき ● 水中（ウォータープルーフケース（別売）（□243）使用時）● 長い距離を移動したとき ● 周囲の環境が異なる場所へ移動したとき
- GPS 衛星は時間の経過とともに移動するため、上記以外の環境でも、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録したり、同じ場所でカメラを使っていても移動した位置情報を記録することがあります。

信号の受信時間について

- バッテリーを入れ換えたときや GPS 機能を長い時間使わなかったときは、GPS 衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- Wi-Fi 機能を使って、GPS のアシストデータ（GPS 衛星の位置などの情報）を保存しておくことで、信号を受信する時間を短くすることができます（□56）。

GPS 機能を使う

1 設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の[]を選んだあと、[]を選びます(43)。
- 戻すときは、上記の操作で［］を選びます。

2 受信状態を確認する

- 空が見通せる屋外にカメラを持っていきます（屋内などの「GPS 衛星からの信号が受信できない環境」（49）では正しく機能しません）。
- GPS 受信状態の表示を確認します。

- GPS 機能は MENU（メニュー）でも設定することができます（44）。

受信状態の表示

	（点灯）	GPS 衛星の信号が受信できました。測位したカメラの位置情報を記録できます。*
	（点滅）	GPS 衛星を探しています。*
	（点灯）	GPS 衛星の信号が受信できません。

* ロガー機能（52）が使えるようにしているときは、［］も表示されます。

[⛒] が表示されるとき

- 屋内など「GPS 衛星からの信号が受信できない環境」（📖49）でカメラを使っているときは、空が見通せる屋外にカメラを持って行き、カメラを正しく構える（📖48）か、GPS 信号受信部を空へ向けることで受信しやすくなります。
- 空が見通せる屋外など、受信しやすい環境では数分間で［⛒］（点灯）の表示になりますが、数分間待っても［⛒］（点灯）が表示されないときは、できるだけ周囲に建物など GPS 衛星からの信号を妨げないところへ移動して［⛒］（点灯）の表示になるまで数分間お待ちください。

撮影した画像にカメラの位置情報を記録する

撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報（緯度／経度／標高）を記録することができます。記録された位置情報はカメラで確認（📖153）したり、ソフトウェア（📖29）を使うと地図上に表示しながら静止画や動画と一緒に確認することもできます。

1 GPS 機能を使えるようにする

- 「GPS 機能を使う」の手順 1 ～ 2（📖50）の操作で設定します。

2 撮影する

- 撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報が記録され、「GPS 情報表示」（📖153）で確認できます。

- 撮影した画像に記録される位置情報と一緒に、UTC による撮影日時（📖153）を記録することもできます（📖55）。

- 動画に記録されるのは、撮影がはじまったときのカメラの位置情報や撮影日時です。
- ダイジェスト動画（📖63）で作成される動画に記録されるのは、1 日のはじめに作成された動画が撮影されたときのカメラの位置情報と撮影日時です。

カメラの位置情報を記録する（ロガー機能）

GPS 衛星からの信号を一定間隔で受信し続けることで、移動の軌跡が記録できます。記録された位置情報や日時は、1 日分の情報が画像とは別の GPS ログファイルとして記録されて、カメラで確認（□54）したり、ソフトウェア（□29）を使うと地図上で軌跡を確認することもできます。
なお、電源を切っている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。そのため、必要に応じてバッテリーを充電するか、充電された予備のバッテリー（別売）の用意をおすすめします。

1 設定する

- 「GPS 機能を使う」の手順 1（□50）の操作で項目の[ ]を選び、<DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［入］を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

2 設定を終える

- <FUNC SET> を押すとロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認してください。
- ▶ 撮影画面には、GPS の受信状態に連動して［ ］が表示されます（□50）。
- ▶ ロガー機能が動作し、一定の間隔で GPS 衛星から受信した信号を元に、測位した結果や日時がカメラに記録されます。
- 電源を切っても、ロガー機能は動作します。

3 カードに GPS ログファイルを保存する

- 電源を切ると、メッセージが表示され、カメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。なお、カードに保存された位置情報や日時は、カメラには残りません。
- 以下の操作でもカメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。
  - ロガー情報一覧を表示したとき
  - 日付 / 時刻設定画面を表示しようとしたとき
  - エリア設定画面を表示しようとしたとき
- 電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。

- 手順 3 のあとにバッテリーを取り出すと、ロガー機能は停止します。そのため、バッテリーを入れ換えたときは電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっているとGPS ログファイルは保存できないため、スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- 位置情報や日時は、電源を切ったときやロガー情報一覧を表示したとき（□54）に、カードに保存されます。このため、電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
- 記録された位置情報や日時は、バッテリーの残量がなくなっても、カードに保存するまではカメラに保存されています。ロガー機能を設定したあと、カメラを他人に渡すときは、十分注意してください。
- カードを初期化（□234）すると GPS ログファイルも消えます。カードを初期化するときは十分注意してください。

- ロガー機能は MENU（メニュー）でも設定することができます（□231）。

GPS ログファイルを確認する

カードに保存されている GPS ログファイルの内容をカメラで確認できます。

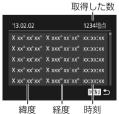
1 ［GPS 設定］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［ƒ†］タブの［GPS 設定］を選び、<(FUNC/SET)> を押します（□44）。

2 ［ログファイル表示］画面を表示する

- ［ログファイル表示］を選び、<(FUNC/SET)> を押します（□44）。

3 GPS ログファイルを選んで確認する

- ▶ 今日の日付の右側には、最後に測位してからの経過時間が表示されます。
- 目的の日付を選んで <(FUNC/SET)> を押すと、記録された緯度、経度、時刻と、その日に取得した情報の数が表示されます。
- <MENU> ボタンを 2 回押すと［GPS 設定］画面に戻ります。もう一度 <MENU> ボタンを押すと GPS 機能やロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認した上で <(FUNC/SET)> を押します。

カメラの日付／時刻を自動的に更新する

GPS 衛星からの信号を受信して、設定しているエリア（📖20、230）の日時へ、カメラの日付／時刻を自動的に更新します。
また、撮影した画像に記録される位置情報（📖51）と一緒に、UTC による撮影日時（📖153）が記録されるようになります。

1 ［GPS］を［入］にする

- 「GPS 機能を使う」の手順 1 ～ 2（📖50）の操作で設定します。

2 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［ƳϮ］タブの［GPS 自動時刻設定］を選んだあと、［入］を選びます（📖44）。
- サマータイムを設定するときは、「日付／時刻を設定する」の操作（📖21）で設定します。

自動更新されたことを確認する

自動更新されると、「日付／時刻を変える」（📖21）の操作で表示される［日付 / 時刻］画面に［自動更新しました］と表示されます。また、GPS 衛星からの信号を受信する前は［GPS 自動時刻設定：入］と表示されます。

- ［GPS 自動時刻設定］を［入］にしているときは、日付／時刻は自動更新されるため、「日付／時刻を変える」（📖21）の操作で［日付 / 時刻］の画面を表示しても、日時を変えることはできません。

信号の受信時間を短くする

GPS のアシストデータ（GPS 衛星の位置などの情報）をカードに保存しておくことで、信号を受信する時間を短くできます。
アシストデータを取得するには、Wi-Fi に接続する環境・設定が必要です（187）。
また、アシストデータには有効期限があるため、定期的にアシストデータを取得することをおすすめします。

1 [GPS 自動時刻設定] を [入] にする（55）

2 [アシストデータ] 画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[𝐘𝐓] タブの [GPS 設定] を選び、<FUNC.SET> を押します（44）。
- [アシストデータ] を選び、<FUNC.SET> を押します（44）。

3 [最新のデータを取得] 画面を表示する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [最新のデータを取得] を選び、<FUNC.SET> を押します。

4 アシストデータを取得する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、<FUNC.SET> を押します。

- Wi-Fi 機能を使ったことがないときや、接続したことのあるアクセスポイントに接続できないときは、アクセスポイントを選ぶ画面が表示されるので、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」の手順 2 ～ 4 の操作（212）でアクセスポイントに接続します。

5 有効期限を確認する

- 画面に表示された有効期限を確認して、<FUNC. SET> を押します。

- アシストデータはカードに保存されるため、カードを入れていないときやカードがロックされているときはデータを取得できません。また、カードを初期化するとアシストデータも消去されます。
- アシストデータは、弊社のサーバーから取得していますが、データの提供サービスを予告なく終了することがあります。

- Wi-Fi 機能の詳細は、「Wi-Fi 機能」（187）を参照してください。
- カード内にアシストデータがあるときは、手順 4 の画面で現在のデータの取得日と有効期限を確認できます。
- カード内にアシストデータがあっても、手順 3 の画面の［アシストデータ］で［切］を選ぶと、アシストデータを使わないで GPS 衛星から信号を受信します。

3

オートモード / プラスムービーオートモード

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

静止画　動画

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

静止画　動画

オートモードで撮る（こだわりオート）

1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。

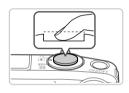
2 ［AUTO］モードにする

- モードダイヤルを［AUTO］にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（□67、69）。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

ズームバー

ピントの合う範囲（目安）

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを <[♠]> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、<[♠♠♠]> 側に押すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバーが表示されます）。

4 撮影する

静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- ▶ 複数の AF フレームが表示されたときは、表示されたすべての AF フレームにピントが合っています。
- ▶ 暗いところではストロボが自動で上がります。

②撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボが上がっているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶ 撮影した画像は、次の撮影ができるようになるまでの間だけ表示されます。

撮影時間

動画を撮る

①撮影をはじめる

● 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間が表示されます。

▶ 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。

▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。

● 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

②撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

● 撮りたいものの大きさを変えるときは手順 3（□60）と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。

● 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。

③撮影を終える

● もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。

▶ カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

静止画を撮影するだけで、撮影直前のシーンが動画として自動で記録され、1 日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。

1 ［ ］モードにする

- モードダイヤルを［ ］にします。
- ▶ストロボが自動で上がります。

2 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順 3 ～ 4（□60 ～ 61）の操作で静止画を撮影します。
- 撮影直前の約 2 ～ 4 秒間のシーンがダイジェスト動画として自動的に記録されるため、静止画を撮影する約 4 秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音（□229）は鳴りません。

- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、［AUTO］モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり［ ］モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音が録音されます。

- 同じ日に記録されたダイジェスト動画は 1 つのファイルになりますが、1 回の撮影で作成されたダイジェスト動画は 1 つのチャプターになります。
- 次のときは、同じ日に［ ］モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
  - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 13 分 20 秒になったとき
  - ダイジェスト動画を保護したとき（166）
  - サマータイムの設定（21）やエリア設定（230）を変えたとき
  - フォルダが新しく作成されたとき（236）

ダイジェスト動画の再生について

［ ］モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することできます（154）。

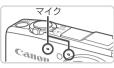
静止画／動画

- <DISP.> ボタンを押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、<MENU> ボタンを押して、［ ］タブの［消音］を選び、<◀> か <▶> を押して［しない］を選びます。
- カメラをふると「カタカタ」とレンズの動く音がしますが、これは故障ではありません。

静止画

- ［］が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」（297）を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と 1 回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲（撮影範囲）は、「撮影距離」（297）を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに［］が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを離してもう一度押してください。
- 「寝顔」「赤ちゃん（寝顔）」のアイコン（67）が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- ストロボが上下するときに押さえたりして動作を妨げると［ストロボ位置が正しくありません。電源を入れなおしてください］のメッセージが表示されますので、電源を一度切り、もう一度入れ直してください。

- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます（93）。

動画

- 動画撮影するときは、マイクをふさがないよう注意してください。マイクをふさぐと音声が録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 回転方向の手ブレや手ブレによる画像のひずみを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください（□140）。

- 音声はステレオで録音されます。
- 風が強いときに発生する雑音はウィンドカット機能によって低減されますが、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときは、<MENU> ボタンを押して、[■] タブの［ウィンドカット］を選び、[切]を選んでください（□44）。

静止画　動画

シーンのアイコン

[AUTO]、[ ] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します（□68）。

被写体 ＼ 背景	通常	逆光	暗い*	夕景	スポットライト
人				–	
動いているとき			–	–	–
顔の一部が暗いとき		–	–	–	–
笑顔			–	–	–
寝顔			–	–	–
赤ちゃん			–	–	–
笑顔			–	–	–
寝顔			–	–	–
こども（動いているとき）			–	–	–
人以外	AUTO				
動いているとき			–	–	–
近いとき			–	–	

＊三脚使用時

アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

- [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] の背景は紺色、[ ] の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「近いとき」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人 – 動いているとき」「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん – 笑顔」「赤ちゃん – 寝顔」「こども」「人以外 – 動いているとき」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを [ ] に設定しているとき（□68）は、「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん – 笑顔」「赤ちゃん – 寝顔」「こども」のアイコンは、表示されません。

- ストロボを［$\mathbf{\lightning}^{A}$］に設定しているとき、逆光での「笑顔」「こども」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども」のアイコンは、［個人認証］を［入］にしていて、登録されている赤ちゃん（2 歳未満）、こども（2 歳以上 12 歳以下）の顔が検出されたときに表示されます（□76）。なお、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください（□20）。
- ［AUTO］モードで撮影中は、「人」「顔の一部が暗いとき」「人以外」「近いとき」以外のアイコンは表示されません。

- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、［**P**］モード（□119）で撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる［笑顔連写］［寝顔連写］［こども連写］のいずれかが表示されます。

笑顔（赤ちゃんを含む）	笑顔連写：連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した 1 枚だけを保存します。
寝顔（赤ちゃんを含む）	寝顔連写：連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。 AF 補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	こども連写：動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1 回の撮影で 3 枚の画像を連続撮影して保存します。

- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色合いは、1 枚目の撮影で固定されます。

- <FUNC/SET> を押して、メニュー項目の［A連写］を選んだあと［□］を選ぶと、連続撮影されなくなります。

静止画　動画

手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、[AUTO]、[ ] モードでは以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	静止画を撮影するときの手ブレを補正		動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック IS）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正*		動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード IS）
	マクロ撮影するときの手ブレを補正（ハイブリッド IS）		三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、撮影条件によってはブレを補正

＊動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。

- ［手ブレ補正］を［切］に設定（140）すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- ［ ］モードでは［ ］にはなりません。

静止画　動画

画面に表示される枠

[AUTO] モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。

  ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、[P] モード（119）で撮影することをおすすめします。

静止画　動画

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 80 倍まで拡大できます。

1 ズームレバーを <[♠]> 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- ▶画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

倍率

2 もう一度 <[♠]> 側に押す

- ▶さらにズームして、被写体が拡大されます。

- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
  - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
  - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
  - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域

  また、設定した記録画素数（📖86）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。
- 設定した記録画素数（📖86）とデジタルズームの倍率によっては、ズーム倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。

- 光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離は以下のとおりです（35mm フィルム換算）。
  25 - 2000 mm（光学ズーム時は 25 - 500 mm）
- デジタルズームを使わないようにするには、<MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［デジタルズーム］を選び、［切］を選びます。

静止画　動画

セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。

1 設定する

- <▼> を押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［ ］を選び、<FUNC SET> を押します。
- ▶ 設定されると［ ］が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。

- ▶ タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶ 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<MENU> ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［ ］を選びます。

静止画　動画

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

設定する

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1（□72）の操作で［ ］を選びます。
- ▶ 設定されると［ ］が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2（□72）の操作で撮影します。

静止画　動画

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間（0 – 30 秒）と、撮影枚数（1 – 10 枚）を設定できます。

1 ［ ］を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1（□72）の操作で［ ］を選び、すぐに <MENU> ボタンを押します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して［時間］または［枚数］を選びます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して数値を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ 設定されると［ ］が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2（□72）の操作で撮影します。

- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した［時間］で撮影がはじまりますが、［枚数］は反映されません。

- 撮影枚数を2枚以上にしたときは、明るさや色あいは1枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

静止画

ストロボを光らせない

ストロボを光らせないで撮影することができます。

設定する

- <▶>を押したあと、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［⊘］を選び、<FUNC. SET>を押します。
- ▶ストロボが上がっているときは、自動でストロボが下がります。
- ▶設定されると［⊘］が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［⚡A］を選びます。

- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に［手ブレ警告］が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

静止画

日付を写し込む

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。
なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください(□20)。

1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［日付写し込み］を選び、目的の項目を選びます（□44）。
- ▶ 設定されると［］が表示されます。

2 撮影する

- ▶ 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。

- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
  - ソフトウェアを使って印刷する
  「ソフトウェアの使用説明書」（□29）を参照してください。
  - プリンターの機能を使って印刷する（□251）
  - 印刷指定（DPOF）機能を使って印刷する（□258）

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。
また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき（📖157）にも便利です。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像（顔情報）や、設定した個人情報（名前、誕生日）は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除（📖84）してください。

人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［個人認証設定］を選び、<FUNC./SET> を押します（📖44）。

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［登録］を選び、<FUNC./SET> を押します。

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［新しい人物情報を登録］を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。

- ［登録しますか？］が表示されたら <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶［プロフィール編集］画面が表示されます。

3 名前と誕生日を登録する

- <FUNC. SET> を押します。

- <▲><▼><◀><▶>を押すか<◎>を回して文字を選び、<FUNC/SET>を押して入力します。
- 最大 10 文字まで入力できます。
- ［⬅］か［➡］を選んで<FUNC/SET>を押すと、文字を入力する位置を移動できます。
- ［🗑］を選んで<FUNC/SET>を押すと、前の 1 文字が消去されます。
- <MENU>ボタンを押して、［プロフィール編集］画面に戻ります。

- 誕生日を登録するときは、［プロフィール編集］画面で<▲>か<▼>を押すか<◎>を回して［誕生日］を選び、<FUNC/SET>を押します。
- <◀>か<▶>を押して項目を選びます。
- <▲>か<▼>を押すか<◎>を回して設定します。
- すべての項目を設定したら、<FUNC/SET>を押します。

4 登録する

- <▲>か<▼>を押すか<◎>を回して［保存］を選び、<FUNC/SET>を押します。
- メッセージが表示されたら、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［はい］を選び、<FUNC/SET>を押します。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。

- 手順 2 の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順 3 で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんやこどものアイコンは表示されません（□67）。

- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます（□82）。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。

▶ カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大3人まで画面に表示されます。
- 撮影します。

▶ 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます（合計 5 人まで）。

- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。

- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます（160、161）。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします（82）。
- 情報表示なし（42）にすると、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、［ ］タブの［個人認証設定］の［個人認証］を［切］にします。
- 記録された名前は、再生画面（簡易情報表示）で確認することができます（152）。
- ［ ］モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。

登録した情報を確認／編集する

1 ［情報確認 / 編集］画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1（□76）の操作で［情報確認 / 編集］を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 確認／編集する人を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して確認／編集したい人を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［プロフィール編集］を選び、<FUNC. SET> を押します。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順 3（□77）の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- 顔情報を確認するときは、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［顔情報の一覧］を選び、<FUNC. SET> を押します。表示された画面で <▲><▼><◀><▶> を押して顔情報を選び、<FUNC. SET> を押すと［消去しますか？］が表示され、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選んで <FUNC. SET> を押すと顔情報を消去できます。

- [プロフィール編集]で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

- 登録した名前は、ソフトウェアを使って編集することもできます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。

顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。
また、顔情報を 5 つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。

1 [顔情報の追加登録]画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1（□76）の操作で[顔情報の追加登録]を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 入れ換える人の名前を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して入れ換える人の名前を選び、<FUNC. SET> を押します。
- 5 つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、<FUNC. SET> を押します。
- 登録されている顔情報が 4 つ以下のときは、手順 4 に進んで顔情報を追加します。

3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して入れ換えたい顔情報を選び、<FUNC. SET> を押します。

4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2（□77）の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。

- 顔情報が 5 つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が 4 つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して（□81）から、新しい顔情報を登録（□76）してください。

登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報（顔情報、名前、誕生日）を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。

1 ［登録情報の消去］画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1（□76）の操作で［登録情報の消去］を選びます。

2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶>を押すか<◎>を回して人物情報を消す人の名前を選び、<FUNC. SET>を押します。
- ［消去しますか?］が表示されたら、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［OK］を選び、<FUNC. SET>を押します。

- 登録情報を消すと、名前の表示（□155）や、入れ換え（□160）、検索（□157）はできなくなります。

- 画像に記録された名前を消すこともできます（□161）。

静止画

縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。

設定する

- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の［4:3］を選んだあと、目的の項目を選びます（📖43）。
- ▶ 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で［4:3］を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。

- ［ ］モードでは設定できません。

静止画

記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を 4 種類から選べます。それぞれの記録画素数で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（□296）を参照してください。

設定する

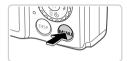
- <FUNC.SET> を押して、メニュー項目の［L］を選び、目的の項目を選びます（□43）。
- ▶設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［L］を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

- ［S］は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。

静止画

赤目自動補正

ストロボ撮影時に目が赤く写る現象を、自動補正して撮影できます。

1 ［ストロボ設定］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［］タブの［ストロボ設定］を選び、<FUNC. SET> を押します（44）。

2 設定する

- ［赤目自動補正］を選んだあと、［入］を選びます（44）。
- ▶ 設定されると［］が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

- 化粧などで目の周りが赤いときは、目以外を補正することがあります。

- 撮影した画像を補正することもできます（183）。
- <▶> を押してから <MENU> ボタンを押しても、手順 2 の画面を表示できます。

動画

動画の画質を変える

3 種類の画質から選べます。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「1 枚のカードに撮影できる時間」(□297)を参照してください。

設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の[1920 30]を選んだあと、目的の項目を選びます(□43)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で[1920 30]を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
1920 30	1920 x 1080 画素*	30 フレーム / 秒	Full HD(フルハイビジョン)画質で撮影できます。
1280 30	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD(ハイビジョン)画質で撮影できます。
640 30	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD(スタンダード)画質で撮影できます。

* 高解像動画処理(多くの情報を高速に処理することで、より高精細な動画を記録することができます)

- [1920 30][1280 30]では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- [動画]モードでは、より滑らかな[1920 60]も選べます(□116)。

撮影の手助けとなる機能を使う

静止画　動画

グリッドラインを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。

設定する

- <MENU> ボタンを押して、［］タブの［グリッドライン］を選び、［入］を選びます（44）。
- ▶ 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

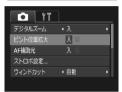
- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

静止画

ピント位置を拡大表示する

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。

1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［ピント位置拡大］を選び、［入］を選びます（📖44）。

2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたときは、シャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。

- デジタルズーム（📖71）、テレビに表示しているとき（📖245）は拡大表示されません。
- ［AUTO］モードでは設定できません。

静止画

目をつむった人を確認する

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、［ ］を表示してお知らせします。

1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［ ］タブの［目つむり検出］を選び、［入］を選びます（44）。

2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、［ ］が点滅表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- ［ ］で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- ［表示時間］を［2 秒］、［4 秒］、［8 秒］、または［ホールド］にしているとき（93）は、目をつむった人の顔に枠が表示されます。
- ［ ］で連続撮影されたとき（128）は、動作しません。

自分好みに機能を変える

<MENU> の［📷］タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。
なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖44）を参照してください。

静止画

AF 補助光（ランプ）を切る

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［AF 補助光］を選び、［切］を選びます（📖44）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

静止画

赤目緩和機能（ランプ）を切る

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 ［ストロボ設定］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［ストロボ設定］を選び、<FUNC SET> を押します（📖44）。

2 設定する

- ［赤目緩和ランプ］を選んでから、［切］を選びます（📖44）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

静止画

撮影直後の画面表示を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

撮影直後の画像表示時間を変える

1 ［撮影直後のレビュー表示］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［撮影直後のレビュー表示］を選び、<FUNC/SET> を押します（📖44）。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［表示時間］を選び、<◀> か <▶> を押して目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で［クイック］を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。

1 [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒] または [ホールド] にする (93)。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [表示情報] を選び、<◀> か <▶> を押して目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示（278）になります。

- [表示時間]（93）で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに <DISP.> ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、[📷] タブの [表示情報] で設定した内容は変わりません。また、<FUNC/SET> を押すと以下の操作を行えます。
  - 保護（166）
  - 消去（170）
  - お気に入り（176）

4

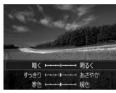
いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る

かんたんに明るさ、あざやかさ、色あいを変えて撮る（ライブビューコントロール）

明るさ、あざやかさ、色あいをかんたんな操作で自分好みに設定して撮影できます。

1 ［LIVE］モードにする

- モードダイヤルを［LIVE］にあわせます。

2 設定する

- <FUNC SET>を押して設定画面を表示したあと、<▲>か<▼>を押して項目を選び、画面を見ながら<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して値を設定します。
- <FUNC SET>を押します。

3 撮影する

明るさ	右側にいくほど明るくなり、左側にいくほど暗くなります。
あざやかさ	右側にいくほどあざやかな画像に、左側にいくほどすっきりとした画像になります。
色あい	右側にいくほど赤みの強い暖色系の画像になり、左側にいくほど青みの強い寒色系の画像になります。

- 明るさを設定しても、動画では最適な明るさで撮影されます。

マナーモードで撮る

ストロボやランプ（前面）が光らず、消音の状態で撮影できます。ストロボの光やカメラを操作したときに鳴る音が制限される場所でカメラをお使いになるときにおすすめします。

1 [ ] モードにする

- モードダイヤルを [ ] にあわせます。

2 撮影する

- [ ] モードに設定すると、再生モードにしても消音の状態のままです。操作音は鳴らず、動画の再生時にも音声は再生されません。

動きのある被写体を撮る（スポーツ）

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。

1 ［🏃］モードにする

● モードダイヤルを［🏃］にあわせます。

2 ピントを合わせる

● シャッターボタンを半押ししている間、青色で枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます。

3 撮影する

● シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。
● シャッターボタンを離すか、撮影できる最大枚数になると撮影が終わり、[処理中]と表示され、撮影された順に画像が表示されます。

- ［🏃］モードでは、撮影シーンによってはISO感度（📖122）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- ［🏃］モードでの撮影範囲は、「撮影距離」（📖297）を参照してください。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。SDスピードクラス6以上のカードを使用することをおすすめします。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。

再生したときの表示について

1 回に連続撮影された複数の画像が 1 つのグループにまとめられ（グループ化）、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す［SET ⧉］が画面左上に表示されます。

- グループ化された画像を消す（📖170）と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。

- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり（📖158）、グループ化を解除できます（📖159）。
- グループ化された画像を保護（📖166）すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索（📖157）や連想再生（📖165）で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて 1 枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集（📖160）、お気に入り設定（📖176）、編集（📖178 〜 183）、印刷（📖251）、1 枚ずつの印刷指定（📖259）、フォトブック指定（📖262）はできません。グループ化された画像を 1 枚表示（📖158）にするか、グループ化を解除（📖159）してから行ってください。

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。

1 ［SCN］モードにする

- モードダイヤルを［SCN］にあわせます。

2 撮影モードを選ぶ

- <(FUNC/SET)> を押してメニュー項目の［ポートレート］を選び、撮影モードを選びます（□43）。

3 撮影する

静止画　動画

人を撮る（ポートレート）

- 人をやわらかい感じで撮影できます。

静止画

三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。

静止画　動画

水中で撮る（水中）

- ウォータープルーフケース（別売）（□243）を使って、水中にいる生き物や海中の景色などを、自然な色あいで撮影できます。
- ホワイトバランスを補正して、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます（□103）。

静止画　動画

雪景色で撮る（スノー）

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。

静止画　動画

花火を撮る（打上げ花火）

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

- [ ] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [ ]［ ］モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度（□122）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [ ] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [ ] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思い通りの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [ ] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（□140）。

- 三脚を使って夜景を撮影するときは、［ ］モードではなく、［AUTO］モードで撮影することをおすすめします（□60）。

静止画

水中専用のフォーカスゾーンで撮る

［ ］モード（□101）のときに、フォーカスゾーンが［ ］でピントが合いにくいときは、水中専用のフォーカスゾーンにあわせると水中で最適な撮影ができます。

1 設定する

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。
- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して目的のフォーカスゾーンを選び、<FUNC. SET> を押します。

2 撮影する

フォーカスゾーン	説明
水中マクロ	水中にいる生き物などに近づき、デジタルズームを使うことでさらに拡大して撮影することができます。
クイック	シャッターチャンスを逃さずに、水中で少し離れた被写体を撮影することができます。特に、動き回る被写体を撮影するときに有効です。
MF マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせることができます（□130）。

各フォーカスゾーンのピントが合う範囲は、「撮影距離」（□297）を参照してください。

- ［ ］を選ぶと、光学ズーム位置はもっとも広角になり固定されます。
- ［ ］では、デジタルズームを使うと、記録画素数（□86）によっては画像が粗くなることがあります。
- ［ ］では、被写体が近いときにピントが合わないことがあります。このときは、フォーカスゾーンを［ ］に設定してください。

- AF フレームモードが［キャッチ AF］のとき（□134）は、［ ］と［ ］は設定できません。

静止画　動画

ホワイトバランスを補正する

［ ］モード（□101）のときにホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。

2 ホワイトバランスを選ぶ

- <FUNC. SET> を押して、メニュー項目の［AWB］を選びます。

3 補正する

- ズームレバーを動かして B、A の補正量を調整し、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ 画面に［WB +/-］が表示されます。

- 補正量を設定したあとに手順 2 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。

- B はブルー、A はアンバーの意味です。
- マニュアルホワイトバランス（□125）で白データを取り込んだあとに、上記の操作でホワイトバランスを補正することもできます。

効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。

1 ［ ］モードにする

- モードダイヤルを［ ］にあわせます。

2 撮影モードを選ぶ

- <FUNC. SET> を押してメニュー項目の［ ］を選び、撮影モードを選びます（□43）。

3 撮影する

静止画　動画

鮮烈な色で撮る（極彩色）

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。

静止画　動画

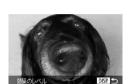
イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。

- ［ ］［ ］モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

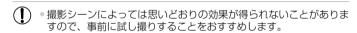
魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。

2 効果を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して効果のレベルを選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画　動画

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。
また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。
- ▶ 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。

2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- <DISP.> ボタンを押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、<▲> か <▼> を押して枠の位置を変えます。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- <MENU> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- <MENU> ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

- 手順 2 の画面で <FUNC SET> を押すと枠の縦横が変わり、枠を縦にしたときは <◀> か <▶> を押すと枠の位置を変えられます。
- 動画の画質は、縦横比で［4:3］を選んだときは［640］に、［16:9］を選んだときは［1280］に固定されます（📖85）。

静止画

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。

2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して色調を選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	［標準］より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	［標準］より寒色系のトイカメラ風画像になります。

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画

優しい雰囲気で撮る（ソフトフォーカス）

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選びます。

2 効果を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して効果のレベルを選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画　動画

単色で撮る（モノクロ）

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 ［◪］を選ぶ

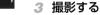
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖100）の操作で［◪］を選びます。

2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して色調を選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。

▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

静止画

顔を見つけて撮る（オートシャッター）

笑顔を見つけて撮る（スマイル）

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選んだあと、<DISP.> ボタンを押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［ ］を選び、<DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 撮影準備に入り、［笑顔を検出中です］が表示されます。

2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- <▼> を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度 <▼> を押すと笑顔の検出を再開します。

- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。

- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順 1 で［ ］を選んだあと、<▲> か <▼> を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、［目つむり検出］（□91）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

静止画

ウインクしたら撮る（ウインクセルフタイマー）

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウインクを検出すると、約 2 秒後に撮影されます。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（100）の操作で［ ］を選んだあと、<DISP.> ボタンを押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［ ］を選び、<DISP.> ボタンを押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ウインクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- ▶ 撮影準備に入り、［ウインクすると撮影します］が表示されます。
- ▶ ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

4 カメラに向かってウインクする

- ▶ 枠が表示された人のウインクが検出されると、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<MENU> ボタンを押します。

- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で［ ］を選んだあと、<▲> か <▼> を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、［目つむり検出］（□91）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。

静止画

人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出（□133）されると、約 2 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。

1 ［ ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［ ］を選んだあと、<DISP.> ボタンを押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［ ］を選び、<DISP.> ボタンを押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- ▶ 撮影準備に入り［顔が増えたら撮影します］が表示されます。
- ▶ ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

▶ 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約 2 秒後に撮影されます。

● タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<MENU> ボタンを押します。

- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で［ ］を選んだあと、<▲> か <▼> を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、［目つむり検出］（91）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

静止画

高速で連続して撮る（ハイスピード連写 HQ）

シャッターボタンを全押ししている間、高速で連続撮影ができます。連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」（□298）を参照してください。
HQ は High Quality（ハイクオリティ）の略です。

1 ［HQ］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（□100）の操作で［HQ］を選びます。

2 撮影する

- ▶ シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。
- シャッターボタンを離すか、撮影できる最大枚数になると撮影が終わり、[処理中] と表示され、撮影された順に画像が表示されます。
- ▶ 1 回に連続撮影された複数の画像が 1 つのグループにまとめられ（グループ化）、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます（□99）。

- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。
- 撮影中は、画面に何も表示されません。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。SDスピードクラス6以上のカードを使用することをおすすめします。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。

いろいろな動画を撮る

動画

[]モードで動画を撮る

1 []モードにする

- モードダイヤルを［］にします。
- ▶画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

2 目的に応じて各機能を設定する（📖280 ～ 291）

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

動画

動きがより滑らかな動画を撮る

1 秒あたりのフレーム数を約 2 倍にして、動きがより滑らかな動画を撮影することができます。

- 「動画の画質を変える」（📖88）の手順で［1920 60］を選びます。

動画

明るさを固定したり変えて撮る

撮影前に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で変えられます。

1 露出を固定する

- <▲> を押すと露出が固定されて露出シフトバーが表示されます。
- もう一度 <▲> を押すと解除されます。

2 露出を変える

- 画面を見ながら、<◎> を回して露出を変えます。

3 撮影する（□116）

動画

ハイスピード動画を撮る

動きの速い被写体を撮影し、スローモーション再生することができます。なお、音声は録音されません。

1 [ ] を選ぶ

- モードダイヤルを［ ］にします。
- <FUNC SET>を押してメニュー項目の［ ］を選び、［ ］を選びます（□43）。

2 フレームレートを選ぶ

- <FUNC SET>を押して、メニュー項目の［ ］を選び、フレームレートを選びます（□43）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

3 撮影する（□116）

- ▶ 撮影時間に連動したバーが表示されます。なお、撮影できる時間は、最長約 30 秒です。

フレーム数	画質	再生時間（30 秒間撮影したとき）
240 フレーム / 秒	（320 x 240 画素）	約 4 分
120 フレーム / 秒	（640 x 480 画素）	約 2 分

- 撮影中はズームレバーを操作しても、ズームできません。
- ピント、露出、色あいは動画ボタンを押したときに固定されます。

- 撮影した動画を再生（□150）すると、スローモーション再生されます。
- パソコンでソフトウェア（□29）を使うと、再生速度を変えて見ることができます。

5

P モード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る

- モードダイヤルが［P］モードになっていることを前提に説明しています。
- ［P］は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を［P］モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（280 ～ 291）。

プログラム AE で撮る（[P] モード）

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。

1 [P] モードにする

- モードダイヤルを［P］にします。

2 目的に応じて各機能を設定（121 ～ 141）し、撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり（122）、被写体が暗いときにストロボを発光させる（137）と、適正露出が得られることがあります。
- ［P］モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、<FUNC.> や <MENU> の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- ［P］モードでの撮影範囲は、「撮影距離」（297）を参照してください。

明るさ（露出）に関する機能を使う

静止画

明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で補正できます。

- <▲> を押したあと、画面の表示を見ながら <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して明るさを補正し、もう一度 <▲> を押します。
- ▶ 設定した補正量が表示されます。

静止画

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。

1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▲> を押します。
- ▶ ［✱］が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 <▲> を押すと、［✱］が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、［✱］が消え解除されます。

- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに <◎> を回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

静止画

測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。

- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の［◉］を選び、目的の項目を選びます（□43）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

◉	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
［ ］	中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
［•］	スポット測光	画面中央に表示される［［ ］］（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。

静止画

ISO 感度を変える

- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の［ISO AUTO］を選び、目的の項目を選びます（□43）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

ISO AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
ISO 80 ISO 100 ISO 200	低い ↕ 高い	晴天の屋外
ISO 400 ISO 800		曇り空、夕方
ISO 1600 ISO 3200 ISO 6400		夜景、暗い室内

- ［ISO AUTO］では、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

静止画

明るさを補正して撮る（i- コントラスト）

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［i- コントラスト］を選び、項目の［自動］を選びます（📖44）。
- ▶ 設定されると［Ci］が表示されます。

- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。

- 撮影した画像を補正することもできます（📖182）。

色や連続撮影に関する機能を使う

静止画　動画

色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［AWB］を選び、目的の項目を選びます（□43）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇り空や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	水中	水中での撮影に最適なホワイトバランスに設定されます。青みをおさえた自然の色あいで撮影できます。
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）（□125）

静止画　動画

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（124）の操作で［ ］を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、<DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。

- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

静止画　動画

画像の色調を変える（マイカラー）

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

- <FUNC SET>を押して、メニュー項目の［OFF］を選び、目的の項目を選びます（□43）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

項目	説明
OFF マイカラー切	–
V くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
N すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
Se セピア	セピア調になります。
BW 白黒	白黒になります。
P ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
L 色白肌	人の肌が色白になります。
D 褐色肌	人の肌が褐色になります。
B あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
G あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
R あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
C カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます（□127）。

- [Se] [BW] では、ホワイトバランス（□124）は設定できません。
- [L] [D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

静止画 動画

カスタムカラー

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（先鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ 5 段階から選んで設定できます。

1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える（マイカラー）」（□126）の操作で［C］を選び、<DISP.> ボタンを押します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して項目を選び、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- <DISP.> ボタンを押すと設定されます。

静止画

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。
連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」(□298)を参照してください。

1 設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の [□] を選んだあと、目的の項目を選びます (□43)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

2 撮影する

- ▶ シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

モード	説明
連続撮影	シャッターボタンを半押ししたときのピント位置と露出で連続撮影されます。
AF 連続撮影	連続撮影中もピント合わせが行われます。 [AF フレーム] は [中央] に固定されます。
LV 連続撮影*	連続撮影中は、マニュアルフォーカスで設定したピント位置に固定されます。[▒] モードでは、1 枚目のピント位置で固定されます。

＊[▒] モード時 (□101)、AF ロック撮影時 (□136)、マニュアルフォーカス撮影時 (□130) は、[AF] が [LV] になります。
＊各モードの連続撮影の速度については、「連続撮影の速さ」(□298) を参照してください。

- セルフタイマー (□72)、[目つむり検出] (□91) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。

- [□] では、個人認証機能 (□76) を使って撮影すると、名前は 1 枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2 枚目以降も 1 枚目と同じ位置に記録されます。

撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

静止画

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

［］に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（297）を参照してください。

- ＜＞を押したあと、＜＞か＜＞を押すか＜＞を回して［］を選び、＜＞を押します。
- ▶ 設定されると［］が表示されます。

- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- レンズを傷つけないように注意してください。
- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、［］が灰色表示になりピントが合いません。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、［］で撮影することをおすすめします（73）。

静止画　動画

マニュアルフォーカスで撮る

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖297）を参照してください。

1 ［MF］を選ぶ

- <◀>を押したあと、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［MF］を選び、<FUNC. SET>を押します。
- ▶［MF］とMFインジケーターが表示されます。

MFインジケーター

2 おおよそのピントを合わせる

- MFインジケーターの距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、<▲>か<▼>を押すか<◎>を回しておおよそのピントを合わせ、<FUNC. SET>を押します。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます（セーフティMF）。

- マニュアルフォーカス中は、AFフレームモード（📖132）は［中央］固定、AFフレームの大きさ（📖132）は［標準］固定になります。
- デジタルズーム（📖71）、デジタルテレコンバーター（📖131）を使用しているとき、テレビに表示しているとき（📖249）は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。

- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［MF 拡大表示］で［切］を選ぶと、拡大表示されなくなります（📖44）。
- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［セーフティ MF］で［切］を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります（📖44）。

静止画　動画

デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を 1.5 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［デジタルズーム］を選んだあと、目的の項目を選びます（📖44）。
- ▶ 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。

- 1.5 倍 / 2.0 倍時の焦点距離はそれぞれ 37.5 – 750 mm / 50.0 – 1000 mm です（35mm フィルム換算）。
- ズームレバーを <[♠]> 側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）」の手順 2（📖71）の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

静止画　動画

AF フレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。

- <MENU> ボタンを押して、[ ] タブの［AF フレーム］を選び、目的の項目を選びます（□44）。

中央

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。

- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと［ ］が表示されます。

- AF フレームを小さくしたいときは、<MENU> ボタンを押して、[ ] タブの［AF フレームサイズ］で［小］を選びます（□44）。
- デジタルズーム（□71）やデジタルテレコンバーター（□131）使用時、マニュアルフォーカス（□130）時は、［標準］に設定されます。
- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームを合わせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。
- ［個人認証］を［入］にしていて、登録されている人の顔が検出されたときは、画面に名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（□76）。
- ［ピント位置拡大］（□90）を［入］にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

静止画　動画

顔優先 AiAF

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（[AWB] 時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。

- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。
- サーボ AF（135）が［入］で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
  - 被写体が暗い、または明るい。
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

静止画

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 ［キャッチ AF］を選ぶ

- 「AF フレームモードを変える」（📖132）の操作で［キャッチ AF］を選びます。
- ▶ 画面中央に［⌖］が表示されます。

2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に［⌖］が重なるようにカメラを動かして <◀> を押します。
- ▶ 被写体が検出されると電子音が鳴り［⌜ ⌟］が表示されます（動いていても一定の範囲で追い続けます）。
- ▶ 被写体が検出できなくなったときは［⌖］が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 <◀> を押します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、［⌜ ⌟］が青色の［ ］に変わり、被写体を追い続けながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）（📖135）。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- ▶ 撮影後も［⌜ ⌟］が表示され、被写体を追い続けます。

- ［サーボ AF］（□135）は［入］に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- メニューの［◘］タブの［ピント位置拡大］は設定できません。
- ［🌷］は設定できません。

- ［MF］に設定するとき（□130）は、<◀> を 1 秒以上押します。
- ［個人認証］を［入］にしていて、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（□76）。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

静止画

サーボ AF で撮る

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［◘］タブの［サーボ AF］を選び、［入］を選びます（□44）。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。

- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を離して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- メニューの［◘］タブの［ピント位置拡大］は設定できません。
- セルフタイマー（□72）使用時は設定できません。

静止画　動画

フォーカス設定を切り換える

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。

- <MENU> ボタンを押して、[ ] タブの［コンティニュアス AF］を選び、[切］を選びます（44）。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

静止画　動画

AF ロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を離しても、ピント位置は固定されたままになります。

1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、<◀> を押します。
- ▶ピントが固定され、[MF］と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 <◀> を押し、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［ ］を選ぶと解除されます。

2 構図を決めて撮影する

ストロボに関する機能を使う

静止画

ストロボを発光させる

ストロボを常に発光させて撮影できます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」（📖297）を参照してください。

設定する

- <▶> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［⚡］を選び、<FUNC./SET> を押します。
- ▶ ストロボが下がっているときは、自動でストロボが上がります。

静止画

スローシンクロで撮る

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。
なお、ストロボ撮影できる範囲は「ストロボ調光範囲」（📖297）を参照してください。

1 設定する

- <▶> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［⚡★］を選び、<FUNC./SET> を押します。
- ▶ ストロボが下がっているときは、自動でストロボが上がります。
- ▶ 設定されると［⚡★］が表示されます。

2 撮影する

- ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（□140）。

静止画

ストロボの調光量を補正する

ストロボ撮影時の露出を露出補正（□121）と同様に、1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で補正できます。

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の［±ストロボ］を選んだあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します（□43）。
- ▶ 設定した補正量が表示されます。

- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、<MENU>（□44）の［●］タブの［ストロボ設定］で［セーフティ FE］を［切］に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、<MENU>（□44）の［●］タブの［ストロボ設定］にある［調光補正］でも設定することができます。
- <MENU> の［ストロボ設定］画面は、<▶> を押してから <MENU> ボタンを押すことでも表示できます。

静止画

FE ロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影（📖121）と同様に固定できます。

1 ［⚡］にする（📖137）

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▲> を押します。
- ▶ストロボが発光し、［✱］が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 <▲> を押すと、［✱］が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、［✱］が消え解除されます。

- FE は、Flash Exposure（フラッシュエクスポージャー）の略でストロボ露出のことです。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

静止画

圧縮率（画質）を変える

圧縮率を 2 種類から選べます。高画質から順に［ ］（スーパーファイン）、［ ］（ファイン）となります。それぞれの圧縮率で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）」（296）を参照してください。

設定する

- <FUNC. SET> を押して、メニュー項目の［ ］を選び、目的の項目を選びます（43）。

手ブレ補正の設定を変える

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［ ］タブの［手ブレ補正設定］を選び、<FUNC. SET> を押します（44）。

2 設定する

- ［手ブレ補正］を選んでから、目的の項目を選びます（44）。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます（69）。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

＊動画を撮影するときは、［入］の設定に変わります。

- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［切］にすることをおすすめします。

動画

撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する

動画撮影では回転方向の手ブレや手ブレによる画像のひずみも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。回転方向の手ブレ補正を行わないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。

- 「手ブレ補正の設定を変える」（📖140）の操作で［手ブレ補正設定］画面を表示します。
- ［ダイナミック IS］を選んでから、［2］を選びます（📖69）。

- ［手ブレ補正］が［切］のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。

6

Tv、Av、M モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮る

- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る（[Tv] モード）

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。
設定できるシャッタースピードは「シャッタースピード」（□298）を参照してください。

1 ［Tv］モードにする

- モードダイヤルを［Tv］にします。

2 シャッタースピードを設定する

- <◎> を回してシャッタースピードを設定します。

- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（□140）。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/2000 秒です。1/2000 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/2000 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が［ISO 80］に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます（セーフティシフトも使えます（□145））。

- ［Tv］は、Time value（タイムバリュー）の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る（[Av] モード）

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。
設定できる絞り数値は「絞り」（□298）を参照してください。

1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを［**Av**］にします。

2 絞り数値を設定する

- <◎> を回して絞り数値を設定します。

- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（下記））。

- ［**Av**］は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- ［**Tv**］、［**Av**］モードのとき、<MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［セーフティシフト］を［入］にする（□44）と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。
ただし、ストロボ発光時は機能しません。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード）

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

設定できるシャッタースピードや絞り数値は「シャッタースピード」（□298）や「絞り」（□298）を参照してください。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- <▲> を押して、シャッタースピードまたは絞り数値を選び、<◎> を回して設定します。
- ▶ 設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、適正露出からの差が確認できます。
- ▶ 適正露出から± 2 段を越えると、露出レベルマークはオレンジ色で表示されます。

- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボモードを [⚡] にすると画面の明るさは変わりません。
- シャッターボタンを半押ししながら <▲> を押すと、シャッタースピードまたは絞り数値のうち手順 2 で選んでいない方が自動設定されて適正露出になります（設定によっては適正露出にならないことがあります）。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [ISO 80] に固定されます。

- [M] は、Manual（マニュアル）の略です。
- 適正露出は設定している測光方式（□122）で算出されます。

静止画

ストロボ発光量を設定する

[M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の [±] を選んだあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します（□43）。
- ▶設定されると発光量が表示されます。
[±.]：小、[±..]：中、[±...]：大

- ストロボ発光量は、<MENU>（□44）の [■] タブの [ストロボ設定] にある [発光量] でも設定することができます。
- [Tv] モードや [Av] モードでは、<MENU>（□44）の [■] タブの [ストロボ設定] で [発光モード] を [マニュアル] に設定するとストロボ発光量が設定できます。
- <MENU> の [ストロボ設定] 画面は、<▶> を押してから <MENU> ボタンを押すことでも表示できます。

7

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- <▶> ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

(!) ● パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。

1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- <◀> を押すか <◎> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<▶> を押すか <◎> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <◀> か <▶> を押したままにすると、画像が速く切り換わります。

- <◎> を速く回すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◎> を回して画像を選びます。
- <FUNC SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に <▲> か <▼> を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。

- 動画では、［SET ▶］が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- <(FUNC SET)> を押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［▶］を選び、もう一度 <(FUNC SET)> を押すと再生がはじまります。

音量バー

4 音量を調整する

- <▲> か <▼> を押して調節します。
- 音量バーが消えても、<▲> か <▼> を押して調節することができます。

5 一時停止する

- <(FUNC SET)> を押すたびに、一時停止／再開できます。
- ▶ 再生が終わると［SET▶］が表示されます。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、<MENU> ボタンを押して［▶］タブの［スクロール再生］を選び、［切］を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、<MENU> ボタンを押して［▶］タブの［再生開始位置］を選び、［最新の画像］を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、<MENU> ボタンを押して［▶］タブの［再生効果］を選び、<◀> か <▶> を押して効果を選びます。

静止画　動画

表示を切り換える

画面表示は、<DISP.> ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（□278）を参照してください。

情報表示なし

簡易情報表示

詳細情報表示

GPS情報表示

- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

静止画　動画

高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」（上記）にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

静止画　動画

ヒストグラム

- 「詳細情報表示」（上記）のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

静止画　動画

GPS 情報表示

GPS 情報

- 「GPS 情報表示」は［GPS］を［入］にして撮影した静止画や動画に記録（51）されている、測位したカメラの位置（緯度／経度／標高）や撮影日時を確認することができます。
  表示内容は上から順に緯度、経度、標高、［UTC］（撮影日時）です。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像に記録した GPS 情報（222）も確認できます。

- GPS 衛星からの信号が受信できないときや正しく測位できなかった項目の数値には［---］が表示されます。
- ［GPS 自動時刻設定］が［切］のときは、［UTC］（撮影日時）が記録されないため［---］が表示されます。［UTC］（撮影日時）を記録するときは、［GPS 自動時刻設定］を［入］に設定します（55）。
- GPS 情報が記録されていない画像では、「GPS 情報表示」は表示できません。

- ［UTC］は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

動画

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

［ ］モード（63）で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。

1 画像を選ぶ

● ［ ］モードで撮影した静止画には［FUNC. でダイジェスト動画を再生］が表示されます。

2 ダイジェスト動画を再生する

● <FUNC SET> を押してメニュー項目の［▶］を選びます（43）。

▶ 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。

● ［FUNC. でダイジェスト動画を再生］は一定時間で消えます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。

1 再生する動画を選ぶ

● <FUNC SET> を押して、メニュー項目の［ ］を選び、目的の日付を選びます（43）。

2 再生する

● <FUNC SET> を押すと、動画が再生されます。

静止画

個人認証機能で検出された人を確認する

簡易情報表示（152）にすると、個人認証機能（76）に登録している人として検出された最大 5 人までの名前が表示されます。

簡易情報表示にして確認する

- <DISP.> ボタンを何回か押して簡易情報表示にしたあと、<◀> か <▶> を押して画像を選びます。
- ▶ 検出された人に名前が表示されます。

- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、<MENU> ボタンを押して［▶］タブの［認証情報］から［名前表示］を選び、［切］を選びます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画　動画

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。

1 一覧表示にする

- ズームレバーを <■> 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを <🔍> 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。

2 画像を選ぶ

- <◎> を回して表示画像を切り換えます。
- <▲><▼><◀><▶> を押して画像を選びます。
- ▶ 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- <FUNC.SET> を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

静止画　動画

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（□166）、消したり（□170）することもできます。

名前	登録した人の画像（□76）を表示
人物	顔が検出された画像、または［ ］モードで撮影した画像を表示
日付	指定した撮影日の画像を表示
★ お気に入り	お気に入り設定した画像（□176）を表示
静止画／動画	静止画、動画、［ ］モード（□63）で作成された動画のいずれかを表示

1 検索条件を選ぶ

- ＜FUNC. SET＞を押して、メニュー項目の［ ］を選び、条件を選びます（□43）。
- ［ ］［ ］［ ］を選んだときは、表示された画面で＜▲＞＜▼＞＜◀＞＜▶＞を押して条件を選び、＜FUNC. SET＞を押します。

2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠付きで表示され、＜◀＞か＜▶＞を押すか＜ ＞を回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で［ ］を選びます。

- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。また、人物情報が登録されていないとき（□76）は、［ ］を選ぶことはできません。

- 検索した画像を表示しているとき（手順 2）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（□156）、「拡大して見る」（□162）、「スライドショーで見る」（□163）などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」（□166）、「まとめて消す」（□171）、「印刷指定（DPOF）」（□258）、「フォトブック指定」（□262）で［検索したすべての画像を指定］を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存（□178 ～ 183）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

静止画

グループ化された画像を 1 枚ずつ見る

［🏃］［HQ］モード（□98、115）で撮影された画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を 1 枚ずつ見ることもできます。

1 グループ化された画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［SET ⧉］が表示された画像を選びます。

2 ［⧉］を選ぶ

- <FUNC/SET> を押して、メニュー項目の［⧉］を選びます（□43）。

3 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回すとグループ内の画像のみが表示されます。
- <FUNC/SET> を押して、メニュー項目の［⧉］を選び、もう一度 <FUNC/SET> を押すとグループ再生が解除されます（□43）。

- グループ再生の状態（手順 3）で <FUNC.SET> を押すと表示されるメニューの機能を使ったり、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（□ 156）、「拡大して見る」（□ 162）こともできます。また、「保護する」（□ 166）、「まとめて消す」（□ 171）、「印刷指定（DPOF）」（□ 258）、「フォトブック指定」（□ 262）で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1 枚ずつの画像として表示したいときは、<**MENU**> ボタンを押して［▶］タブの［グループ表示］を選び、［切］を選びます（□ 44）。ただし、グループ化された画像を 1 枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。

個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。
ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［認証情報］を選びます（📖44）。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［認証情報の編集］を選び、<FUNC/SET> を押します。

2 画像を選ぶ

- 「個人認証機能で検出された人を確認する」（📖155）の操作で画像を選び、<FUNC/SET> を押します。
- 選択された顔にオレンジ色の枠が表示されるので、複数の名前が表示されているときは、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して入れ換えたい顔を選び、<FUNC/SET> を押します。

3 編集内容を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［入れ換え］を選び、<FUNC/SET> を押します。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 「顔情報を入れ換え／追加する」の手順 2（📖82）の操作で入れ換える人の名前を選びます。

名前を消す

- 📖160 の手順 3 で表示された画面で［消去］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ［消去しますか？］が表示されたら、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。

いろいろな方法で画像を見る

静止画

拡大して見る

表示位置の目安

1 拡大する

- ズームレバーを <Q> 側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約10倍まで拡大できます。
- ズームレバーを <■> 側に押すと縮小表示になり、押したままにすると1枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- <▲><▼><◀><▶> を押すと、表示位置が移動します。
- <◎> を回すと拡大したまま画像を切り換えられます。

- 拡大表示のときに <MENU> ボタンを押すと、1枚表示に戻すことができます。

静止画　動画

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像 1 枚あたりの表示時間は約 3 秒です。

効果を選んでスライドショーをはじめる

- <FUNC./SET> を押して、メニュー項目の［ ］を選び、目的の項目を選びます（43）。
- ［画像読み込み中］が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- <MENU> ボタンを押すと終わります。

- スライドショー中に節電機能（40）は働きません。

- 再生中に <FUNC./SET> を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に <◀> か <▶> を押すか <◎> を回すと画像を切り換えられ、<◀> か <▶> を押したままにすると早送りできます。
- 検索（157）しているときは、対象の画像のみが再生されます。

設定を変える

スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果（再生効果）を変えられます。

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［スライドショー］を選びます (□44)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（□44)。
- ［スタート］を選んで <FUNC.SET> を押すと、設定した内容でスライドショーがはじまります。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

静止画

いろいろな画像を表示する（連想再生）

表示している画像をもとに、4 つの画像をカメラが選んで表示します。その中から 1 つ選ぶとさらに 4 つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。

1 連想再生にする

- <FUNC.SET> を押して、メニュー項目の［連想再生］を選びます（43）。
- ▶ 4 枚の画像が候補として表示されます。

2 画像を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押して次に見たい画像を選びます。
- ▶ 選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- <FUNC.SET> を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 <FUNC.SET> を押すともとの表示に戻ります。
- <MENU> ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

- このカメラで撮影した静止画だけが連想再生の対象になります。
- 次のときは連想再生を使えません。
  - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
  - 対象の画像以外を表示しているとき
  - 検索した画像を表示しているとき（157）
  - グループ再生しているとき（158）

保護する

大切な画像をカメラの消去機能（□170、171）で誤って消さないよう、保護することができます。

- <FUNC SET> を押して、メニュー項目の［O-π］を選ぶ（□43）と、［保護しました］が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度［O-π］を選び、<FUNC SET> を押します。

メニューから操作する

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［保護］を選びます（□44）。

2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（□44）。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- カードを初期化（□234、235）すると、保護された画像も消えます。

- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

1 枚ずつ指定する

1 ［画像指定］を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (📖166) の操作で［画像指定］を選び、<FUNC./SET> を押します。

2 画像を選び指定する

- <◀> か <▶> を押すか <🔘> を回して画像を選び、<FUNC./SET> を押すと［🔑］が表示されます。
- もう一度 <FUNC./SET> を押すと［🔑］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <🔘> を回して［OK］を選び、<FUNC./SET> を押します。

- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

範囲で指定する

1 ［範囲で指定］を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2（166）の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

2 始点の画像を指定する

- <(FUNC/SET)> を押します。

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

3 終点の画像を指定する

- <▶> を押して［終点選択］にし、<(FUNC/SET)> を押します。

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- 始点より前の画像は選べません。

4 保護する

- <▼> を押して［保護］を選び、<FUNC. SET> を押します。

- 手順 2、3 の上側の画面では、<◎> を回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。

すべての画像を指定する

1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2（□ 166）の操作で［すべての画像を指定］を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 保護する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［保護］を選び、<FUNC. SET> を押します。

- 「範囲で指定する」の手順 4、「すべての画像を指定する」の手順 2 で［解除］を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（📖166）は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

2 消す

- <▼> を押します。
- ［消去?］が表示されたら、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［消去］を選び、<FUNC./SET> を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［キャンセル］を選び、<FUNC./SET> を押します。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（📖166）は消えません。

指定方法を選ぶ

1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［消去］を選びます（📖44）。

2 指定方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して指定方法を選び、<FUNC. SET> を押します。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 ［画像指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖171）の操作で［画像指定］を選び、<FUNC.SET> を押します。

2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2（📖167）の操作で画像を選ぶと、［✓］が表示されます。
- もう一度 <FUNC.SET> を押すと［✓］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC.SET> を押します。

範囲で指定する

1 ［範囲で指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖171）の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC/SET)>を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3（📖168）の操作で指定します。

3 消す

- <▼> を押して［消去］を選び、<(FUNC/SET)>を押します。

すべての画像を指定する

1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖171）の操作で［すべての画像を指定］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

2 消す

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

回転する

画像の向きを変えて保存することができます。

1 ［◎］を選ぶ

- <FUNC.SET> を押して、メニュー項目の［◎］を選びます（□43）。

2 回転する

- <◀> か <▶> を押すと指定した方向に 90 度単位で回転し、<FUNC.SET> を押すと設定されます。

メニューから操作する

1 ［回転］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［回転］を選びます（□44）。

2 回転する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- 画質が［1920 60］［1920 30］［1280 30］の動画は回転できません。
- ［縦横自動回転］が［切］のときは回転できません（□175）。

自動回転機能を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［縦横自動回転］を選び、項目の［切］を選びます（□44）。

- ［切］にすると、画像の回転（□174）はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生（□165）では、［切］に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

お気に入り設定をする

お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 見る（📖150）、スライドショーで見る（📖163）、保護する（📖166）、消す（📖170）、印刷指定（DPOF）（📖258）、フォトブック指定（📖262）

- <FUNC/SET> を押して、メニュー項目の［★］を選びます（📖43）。
- ▶［お気に入り指定しました］が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度［★］を選び、<FUNC/SET> を押します。

メニューから操作する

1 ［お気に入り］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［お気に入り］を選びます（📖44）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC/SET> を押すと［★］が表示されます。
- もう一度 <FUNC/SET> を押すと［★］が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

3 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。

- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。

- Windows 8、Windows 7、Windows Vista をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が 3（★★★☆☆）に設定されます（動画を除く）。

静止画を編集する

- 静止画の編集機能（178 ～ 183）は、カードに空き容量がないと使えません。

静止画

画像を小さくする（リサイズ）

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。

1 ［リサイズ］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［リサイズ］を選びます（44）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 大きさを選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して大きさを選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶［新規保存しますか ?］が表示されます。

4 新規保存する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶別画像として保存されます。

5 画像を確認する

- <MENU> ボタンを押すと［保存した画像を表示します］が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［はい］を選び、<FUNC.SET> を押します。
- ▶ 保存した画像が表示されます。

- 手順３で［S］にした画像は、編集できません。

- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

静止画

画像を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1 ［トリミング］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［トリミング］を選びます（📖44）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC.SET> を押します。

切り抜き範囲

切り抜き範囲の表示

切り抜き後の記録画素数

3 切り抜く範囲を調整する

- ▶画像を切り抜く範囲が枠で表示されます。
- ▶左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像が表示されます。
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変えられます。
- <▲><▼><◀><▶> を押すと枠の位置が移動できます。
- <DISP.> ボタンを押すと枠の縦横が変えられます。
- 顔が検出された画像では、左上の画面の顔の位置に灰色の枠が表示されます。<◎> を回すと別の枠に切り換わり、枠を中心にトリミングできます。
- <FUNC.SET> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4 ～ 5（□178 ～ 179）の操作を行います。

- 記録画素数が［ S ］の画像（□86）は、編集できません。

- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 個人認証機能で撮影した静止画をトリミングしたときは、トリミング後に表示されている人の名前だけが残ります。

静止画

画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える（マイカラー）」（□126）を参照してください。

1 ［レタッチマイカラー］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［レタッチマイカラー］を選びます（□44）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して項目を選び、<FUNC. SET> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順4～5（□178～179）の操作を行います。

- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。

- 撮影時のマイカラー（□126）と色調が若干異なることがあります。

静止画

明るさを補正する（i- コントラスト）

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。

1 [i- コントラスト] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [i- コントラスト] を選びます (44)。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して項目を選び、<FUNC. SET> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4 ～ 5（178 ～ 179）の操作を行います。

- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあります。

- ［自動］で思いどおりに補正されないときは、［弱］［中］［強］のいずれかを選んで補正します。

静止画

赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。

1 ［赤目補正］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［赤目補正］を選びます（📖44）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

3 補正する

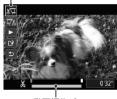
- <FUNC.SET> を押します。
- ▶ 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」（📖162）の操作で画像を拡大／縮小できます。

4 新規保存して画像を確認する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［新規保存］を選び、<FUNC.SET> を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順5（📖179）の操作を行います。

- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で［上書き保存］を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（📖63）を除く）。

1 [✂] を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ～ 5（📖150 ～ 151）の操作で [✂] を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル

動画編集バー

2 編集範囲を指定する

- <▲> か <▼> を押して[✂前]または[✂後]を選びます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して[▮]を動かすと、編集できるところで[✂]が表示されます。[✂前]を選ぶと[✂]位置より前部、[✂後]を選ぶと後部が削除されます。
- [▮]を [✂] 以外の位置に指定しても、[✂前]では1つ左側の [✂] 位置よりも前部、[✂後]では1つ右側の [✂] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- <▲> か <▼> を押して［▶］を選び、<FUNC. SET> を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、<▲> か <▼> を押して［⮌］を選び <FUNC. SET> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、もう一度 <FUNC. SET> を押します。

4 編集した動画を保存する

- <▲> か <▼> を押して［ ］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［新規保存］を選び、<FUNC. SET> を押します。

▶ 別動画として保存されます。

- 手順４で［上書き保存］を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、［上書き保存］しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（□242）を使うことをおすすめします。

8

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を Wi-Fi 機能を使っていろいろな対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する

Wi-Fi を使ってできること

このカメラは Wi-Fi®＊（ワイファイ）認定製品です。以下の機器と Wi-Fi で接続し、接続した機器へ画像を送信できます。
なお、本章では、Wi-Fi 以外の無線 LAN 機能も Wi-Fi と記載していることがあります。

＊ Wi-Fi とは、相互接続性が認定されたことを示す Wi-Fi 機器のブランド名称です。

Web サービスとつなぐ

CANON iMAGE GATEWAY は、本製品を購入された方がご利用いただけるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）をすれば、パソコンで設定した SNS などのいろいろな Web サービスを、CANON iMAGE GATEWAY 経由でご利用いただけます。また、カメラ内の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンに自動で送信することもできます。

スマートフォンとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、カメラで撮影した画像に、スマートフォンやタブレット端末から位置情報を、記録することができます。
まず、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。詳しくは、キヤノンの Web サイトでご確認ください。
なお、以降、スマートフォンとタブレット端末を合わせて「スマートフォン」と記載しています。

別のカメラとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つキヤノン製のコンパクトデジタルカメラ同士で画像を送信できます。

パソコンとつなぐ

ソフトウェアを使って、カメラで撮影した画像を Wi-Fi でパソコンに送信できます。詳しくは、「ソフトウェアの使用説明書」を参照してください。

プリンターとつなぐ

Wi-Fi で使える PictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターに画像を送信して印刷できます。

Wi-Fi を使ってカメラから画像を送信するまで

	やること ＼ 機器	🌐	📱	📷	💻	🖨
準備	カメラにニックネームを登録する（194）	○	○	○	○	○
	パソコンにソフトウェアをインストールする（31）＊1	○	–	–	○	–
	CANON iMAGE GATEWAY から Web サービスを利用するための設定を行う（195）	○	–	–	–	–
	スマートフォンに専用アプリケーションをインストールする（200）	–	○	–	–	–
接続	カメラとつなぐ	○（195）	○（200）	○（204）	○（206）	○（215）
送信／取り込み／印刷	画像を送る（217）	○＊2	○	○	–	–
	画像をパソコンに取り込む（214）	–	–	–	○	–
	画像を印刷する（215）＊3	–	–	–	–	○

＊1 ここでは、付属の CD を使ってソフトウェアが正しくインストール（29）されていることを前提に説明しています。

＊2 サーバー経由転送のときは、自動で送信されます（221）。

＊3 詳しい印刷方法については、「印刷する」（251）を参照してください。

Wi-Fi（無線 LAN）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC1886 です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
  - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトでご確認ください。

    なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解、または改造すること
  - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。

  本製品に登録した無線LANの設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。

  紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。
  本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
  無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問いあわせください。

2.4 DS/OF 4	この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

Complies with
IDA Standards
DB00671

シンガポール IDA 規格の認可済み WLAN Module が組み込まれています。

セキュリティーについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティーに注意する必要があります。
Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う

  本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

  悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

  悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティーを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。
Wi-Fi のセキュリティーについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティーに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

用語の説明

ここでは、Wi-Fi に関する用語について説明しています。また、本文中にも同様に用語を説明している箇所がありますので、あわせてご確認ください。

- アクセスポイント

  Wi-Fi のネットワークを構築するときに電波の中継をする装置です。Wi-Fi でインターネットに接続できるネットワークのことを指すこともあります。

- ファイアウォール

  コンピューターウィルスや外部からの不正アクセスなど、セキュリティー上の脅威からネットワークを守るためのシステムです。Wi-Fi ルーターやお使いのパソコンの OS などに設定されています。

- SSID / ESSID

  特定のアクセスポイントを指定するためにあらかじめ設定されている英数字のことです。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれています。

- 暗号化キー

  アクセスポイントと通信する際にデータを暗号化するためのキー（鍵）です。

- IP アドレス

  機器を識別するためのネットワーク内でのアドレス（住所）です。

- MAC アドレス

  ネットワーク機器にあらかじめ割り当てられている一意なアドレスです。「物理アドレス」とも呼ばれています。

この製品は、Wi-Fi 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディーピーエス オーバー アイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

カメラにニックネームを登録する（初回のみ）

はじめに、カメラにニックネームを登録します。
このニックネームは、Wi-Fi で他の機器と接続するときに、接続先の機器で表示されます。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- <▲> を押します。

2 キーボードを表示する

- <(FUNC/SET)> を押します。

3 ニックネームを入力する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか、<◎> を回して文字を選び、<(FUNC/SET)> を押して入力します。
- 最大 16 文字まで入力できます。
- ［⬅］か［➡］を選んで <(FUNC/SET)> を押すと、文字を入力する位置を移動できます。
- ［🗑］を選んで <(FUNC/SET)> を押すと、前の 1 文字が消去されます。

4 登録する

- <MENU> ボタンを押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［OK］を選び <(FUNC/SET)> を押します。

- パソコン以外の機器と Wi-Fi で接続するときは、カメラにカードが入っている必要があります。また、Web サービス、スマートフォン、プリンターと Wi-Fi で接続するときは、カードに画像が保存されている必要があります。
- カメラの［🔧］タブの［Wi-Fi 設定］で［ニックネームの変更］を選ぶとニックネームを変更できます。

Web サービスとつなぐ

いろいろな Web サービスをカメラに登録する方法について説明します。

CANON iMAGE GATEWAY から Web サービスを利用するための設定を行う

利用する Web サービスのアカウント情報を設定します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定にはパソコンが必要です。
- 設定には、ソフトウェアの「CameraWindow」を使うので、事前に付属の CD からインストールしておいてください（📖31）。また、サーバー経由転送ができるパソコンの環境は「パソコンに必要なシステム構成」（📖30）でご確認ください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、キヤノンの Web サイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。

1 CANON iMAGE GATEWAY に会員登録する

- パソコンなどからインターネットで、「http://canon.com/cig」へ接続し、お住まいの地域の CANON iMAGE GATEWAY のサイトへアクセスします。
- 画面の指示にしたがって会員登録（無料）を行います。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントも必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトをご確認ください。

2 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続する（📖32）

- お使いのパソコンが Windows のときは、事前に設定（📖208）しておくと、インターフェースケーブルを使わずに Wi-Fi でも接続できます。

3 CameraWindow を表示する（📖34）

4 CANON iMAGE GATEWAY のログイン画面を表示する

- ［カメラ設定］をクリックしたあと、［Web サービスを設定する］をクリックします。

5 CANON iMAGE GATEWAY にログインする

- CANON iMAGE GATEWAY のログイン名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

6 利用する Web サービスの設定をする

- 画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定を行います。
- Web サービスの設定が終わったら、画面下の［完了］をクリックして設定画面を閉じます。

7 Web サービスの設定をカメラに反映する

- カメラに設定したい Web サービス名を選択し、中央の［←］をクリックします。
- ▶ カメラに反映する Web サービス名が「カメラ」欄に表示されます。
- ［▲］や［▼］をクリックして、カメラの Wi-Fi メニューに表示される Web サービスの順番を変更することもできます。
- 「カメラ」欄が設定したい状態になったら、この画面を終了します。
- ▶ Web サービスやサーバー経由転送の設定がカメラに反映されます。

- CANON iMAGE GATEWAY をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境（プロバイダーとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトでご確認ください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

- 手順 5 で CANON iMAGE GATEWAY に 2 回目以降にログインしたときは、手順 7 の画面が表示されます。利用する Web サービスの設定を行うには［Web サービスの編集］をクリックします。
- Web サービスの追加や変更をするときは、手順 2 から繰り返します。

Web サービスに接続する

カメラに登録した Web サービスへ接続します。

1 Wi-Fi メニューを表示する

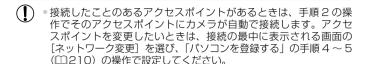
- <▲> を押します。

2 Web サービスを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して送信先の Web サービスのアイコンを選び、<FUNC./SET> を押します。
- 同じサービスに対して複数の送信先があるときは、［送信先の選択］画面で送信先を選んで <FUNC./SET> を押します。

3 アクセスポイントに接続する

- WPS 対応のアクセスポイントのときは、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 6（□210）の操作でアクセスポイントに接続します。
- WPS 非対応のアクセスポイントのときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」の手順 2 ～ 3（□212）の操作でアクセスポイントに接続します。

▶ Web サービスに接続されると、画像を送信する画面が表示されます。「画像を送る」（□217）に進んでください。ただし、［サーバー経由転送］のときは、画像の送信がはじまります（□221）。

- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順 2 の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の［ネットワーク変更］を選び、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 5（210）の操作で設定してください。

- 2 回目以降に Wi-Fi メニューを表示するために <▲> を押すと、最近接続した機器が最初に表示され、<▲> か <▼> を押して機器名を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは <◀> か <▶> で機器の選択画面を表示して設定します。なお、<MENU> ボタンを押して［ㄚ↑］タブにある［Wi-Fi 設定］の［接続先履歴の表示］で［切］を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。

スマートフォンとつなぐ

スマートフォンと Wi-Fi で接続するには、このカメラをアクセスポイントにするか、すでにお使いのアクセスポイントを使って接続します。
ここでは、カメラをアクセスポイントにして接続する手順について説明します。ほかのアクセスポイントを使うときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」（□212）を参照してください。

スマートフォンに CameraWindow をインストールする

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「CameraWindow」（無料）をインストールします。

1 スマートフォンをネットワークに接続する

2 CameraWindow をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から CameraWindow をダウンロードし、インストールします。
- Android 端末では、Google Play から CameraWindow をダウンロードし、インストールします。

3 スマートフォンの名前を登録する

- スマートフォンで CameraWindow を起動し、カメラに表示させるスマートフォンの名前を入力します。

- アプリケーションの詳細（対応するスマートフォンや機能など）については、キヤノンの Web サイトでご確認ください。

スマートフォンに接続する

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▲> を押します。

2 スマートフォンを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して [▯] を選び、<FUNC./SET> を押します。

3 ［接続先の機器の登録］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［接続先の機器の登録］を選び、<FUNC./SET> を押します。

▶ 画面にカメラの SSID と暗号化キーが表示されます。

4 スマートフォンを操作して、カメラの画面に表示されたネットワークに接続する

- お使いのスマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラに表示された暗号化キーを入力します。

5 スマートフォンを操作して、CameraWindow を起動する

▶カメラがスマートフォンを認識すると、接続する機器を選択する画面がカメラに表示されます。

6 接続するスマートフォンを選ぶ

● <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して接続したいスマートフォンの名前（200）を選び、<FUNC. SET> を押します。

7 公開設定する

● <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［はい］を選び、<FUNC. SET> を押します。

▶スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに送信したり、スマートフォンからカメラ内の画像に GPS 情報を記録できるようになります（222）。

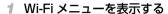
▶スマートフォンが登録されると、画像を送信する画面が表示されます。「画像を送る」（217）に進んでください。

- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順 3 の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の［ネットワーク変更］を選び、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 5（210）の操作で設定してください。
- 手順 7 で［はい］を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 7 の操作で［いいえ］を選んでください。

- 接続したことのあるスマートフォンがあるときは、手順 3 の［接続先の機器の選択］画面で表示されるスマートフォンを選んで接続することができます。
- 2 回目以降に Wi-Fi メニューを表示するために <▲> を押すと、最近接続した機器が最初に表示され、<▲> か <▼> を押して機器名を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは <◀> か <▶> で機器の選択画面を表示して設定します。なお、<MENU> ボタンを押して［YT］タブにある［Wi-Fi 設定］の［接続先履歴の表示］で［切］を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- お使いのスマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書等でご確認ください。
- 複数のスマートフォンを登録するには、手順 1 から繰り返します。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更するには、手順 3 で［接続先の機器の編集］から設定を変更したいスマートフォンを選択し、［画像の公開設定］を選びます。

別のカメラとつなぐ

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

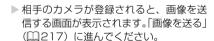
- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。また、IXY DIGITAL WIRELESS とは Wi-Fi 接続できません。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▲> を押します。

2 カメラを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して [📷] を選び、<FUNC/SET> を押します。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [接続先の機器の登録] を選び、<FUNC/SET> を押します。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- ▶ 両方のカメラで「接続先のカメラでも通信を開始してください」画面が表示されると登録がはじまります。

- ▶ 相手のカメラが登録されると、画像を送信する画面が表示されます。「画像を送る」（📖217）に進んでください。

- 2 回目以降に Wi-Fi メニューを表示するために <▲> を押すと、最近接続した機器が最初に表示され、<▲> か <▼> を押して機器名を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは <◀> か <▶> で機器の選択画面を表示して設定します。なお、<MENU> ボタンを押して［🔧］タブにある［Wi-Fi 設定］の［接続先履歴の表示］で［切］を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数のカメラを登録するには、手順 1 から繰り返します。
- カメラを登録すると、そのカメラのニックネームが手順 3 の画面に表示されるようになります。2 回目以降はカメラのニックネームを選んで接続してください。

パソコンとつなぐ

パソコンと接続するために必要な設定とカメラへの登録方法、およびソフトウェアの「CameraWindow」を使って Wi-Fi で画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

- 接続先がパソコンの場合は、接続までの操作はカメラを使い、接続後に画像を取り込む操作にはパソコン（ソフトウェアの「CameraWindow」）を使います。

パソコンを登録するための準備をする

パソコンを登録するための準備を行います。

パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンの環境は「パソコンに必要なシステム構成」（□30）でご確認ください。
また、ソフトウェアの「CameraWindow」をパソコンにインストールしておく必要があります（□31）。

- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N（欧州版）/KN（韓国版）では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。
  詳しくは、次の Web ページを参照してください。
  http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730

Wi-Fi の環境を確認する

Wi-Fi を使うためには、アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機（Wi-Fi ルーターなど）とパソコンが接続されている環境が必要です。Wi-Fi 親機は、「主な仕様」（□295）に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

すでに Wi-Fi を使っているときは、次の項目を確認し、確認シートに記入してください。設定の確認方法については、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。

- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティー上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。

確認シート

ネットワーク名（SSID / ESSID） お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。	
ネットワークの認証 / データの暗号化 **（暗号化方式 / 暗号化モード）** Wi-Fi 通信時のデータを暗号化する方式です。	○ なし ○ WEP（オープンシステム認証） ○ WPA-PSK（TKIP） ○ WPA-PSK（AES） ○ WPA2-PSK（TKIP） ○ WPA2-PSK（AES）
暗号化キー（ネットワークキー） Wi-Fi 通信時のデータを暗号化するために使われるキー（鍵）です。	
キーのインデックス（送信キー） 「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。	○ 1

- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク（LAN）を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、[Ÿ] タブの [Wi-Fi 設定] で [MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

パソコンにWi-Fi接続するための設定を行う（Windowsのみ）

お使いのパソコンがWindowsのときは、カメラとWi-Fiで接続するために、次の手順でWindowsの設定を行ってください。

1 パソコンがWi-Fiに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- ［スタート］メニュー▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［CameraWindow］▶［Wi-Fi接続のための設定］の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。

- 手順2のアプリケーションを実行すると、Windowsに次の設定が行われます。
  - メディアストリーミングを有効にする
    Wi-Fiで接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
  - ネットワーク探索を有効にする
    パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
  - ICMP（Internet Control Message Protocol）を有効にする
    ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
  - UPnP（Universal Plug & Play）を有効にする
    ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティーソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティーソフトの設定をご確認ください。

パソコンを登録する

Wi-Fi で接続するパソコンをカメラに登録します。
ここでは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応したアクセスポイントを使って、プッシュボタン方式で接続する手順について説明します。
お使いのアクセスポイントが WPS に対応していないときは、「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」（📖212）の手順で接続してください。

- WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定を簡単に行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。
- お使いのアクセスポイントが WPS に対応しているかどうかは、アクセスポイントの使用説明書をご参照ください。
- お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせてお読みください。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▲> を押します。

2 パソコンを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［□］を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 ［接続先の機器の登録］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［接続先の機器の登録］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ 検索されたアクセスポイントの一覧が［ネットワークの選択］画面に表示されます。

4 ［簡単設定（WPS 接続）］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［簡単設定（WPS 接続）］を選び、<FUNC.SET> を押します。

5 ［プッシュボタン方式］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［プッシュボタン方式］を選び、<FUNC.SET> を押します。

6 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- カメラの <FUNC.SET> を押します。
- ▶ カメラがアクセスポイントに接続します。
- ▶ そのアクセスポイントに接続しているパソコンの一覧が「接続先の機器の選択」画面に表示されます。

7 接続するパソコンを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回してパソコンの名前を選び、<FUNC.SET> を押します。
- Macintosh の場合は、「CameraWindow を使って画像をパソコンに取り込む」（□214）に進んでください。

ハードウェアとサウンド
デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加

8 ドライバーをインストールする（Windows で初回接続時のみ）

● 左の画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから［コントロールパネル］をクリックし、［デバイスの追加］をクリックします。

● 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。

▶ ドライバーのインストールがはじまります。

▶ ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、「自動再生」画面が表示されます。このとき、カメラの液晶画面には何も表示されなくなります。

●「CameraWindow を使って画像をパソコンに取り込む」（📖214）に進んでください。

- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順 3 の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の［ネットワーク変更］を選び、「パソコンを登録する」の手順 4 ～ 5（📖210）の操作で設定してください。

- 接続したことのあるパソコンがあるときは、手順 3 の［接続先の機器の選択］画面で表示されるパソコンを選んで接続することができます。
- 手順 5 で［PIN コード方式］を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に「接続先の機器の選択」画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- 複数のパソコンを登録するには、手順 1 から繰り返します。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 2 回目以降に Wi-Fi メニューを表示するために <▲> を押すと、最近接続した機器が最初に表示されるため、かんたんに選んで接続することができます。新しく接続先を登録するときは <◀> か <▶> で機器の選択画面を表示して設定します。

一覧に表示されたアクセスポイントに接続する

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「パソコンを登録する」の手順 1 ～ 3（□209）の操作で、ネットワーク（アクセスポイント）の一覧を表示します。

2 アクセスポイントを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回してネットワーク（アクセスポイント）を選び、<FUNC SET> を押します。

3 アクセスポイントの暗号化キーを入力する

- <FUNC SET> を押してキーボードを表示し、暗号化キーを入力します（□207）。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［次へ］を選び、<FUNC SET> を押します。

4 ［自動］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［自動］を選び、<FUNC SET> を押します。
- ▶ そのアクセスポイントに接続している他の機器の一覧が「接続先の機器の選択」画面に表示されます。

5 接続するパソコンを選ぶ

- 「パソコンを登録する」の手順 7 ～ 8（□210 ～ 211）の操作でパソコンを選んで登録します。

- アクセスポイントの暗号化キーについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書をご確認ください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。アクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で［手動設定］を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティー設定、暗号化キーの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 で暗号化キーが「＊」で表示されます。同じ暗号化キーを使うときは、そのまま、<◀> か <▶> を押して［次へ］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- 複数のパソコンを登録するには、手順 1 から繰り返します。

CameraWindow を使って画像をパソコンに取り込む

カメラ内の画像をパソコンに取り込むにはパソコン（ソフトウェアの「CameraWindow」）を使います。

- CameraWindow の操作方法については、「ソフトウェアの使用説明書」（□29）を参照してください。

1 CameraWindow を表示する

- Windows では、［画像をキヤノンカメラからダウンロードします］をクリックします。
- ▶ CameraWindow が表示されます。
- ▶ Macintosh では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

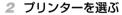
2 画像を取り込む

- ［カメラ内の画像の取り込み］をクリックしたあと、［未転送画像を取り込む］をクリックします。
- ▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、［OK］をクリックします。

- Macintosh で CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。
- 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかることがあります。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- すべての画像や選んだ画像だけをパソコンに取り込んだり、保存先フォルダーを変えることもできます。詳しくは、「ソフトウェアの使用説明書」（□29）を参照してください。

プリンターとつなぐ

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。
プリンターと Wi-Fi で接続するには、このカメラをアクセスポイントにする（カメラアクセスポイントモード）か、すでにお使いのアクセスポイントを使って接続します。
ここでは、カメラをアクセスポイントにして接続する手順について説明します。すでにお使いのアクセスポイントを使って接続するときは、「パソコンを登録する」の「一覧に表示されたアクセスポイントに接続する」（212）を参照してください。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▲> を押します。

2 プリンターを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［凸］を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 ［接続先の機器の登録］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［接続先の機器の登録］を選び、<FUNC. SET> を押します。

4 プリンターを操作して、カメラの画面に表示されたネットワークに接続する

- お使いのプリンターの Wi-Fi（無線 LAN）に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID（ネットワーク名）を選びます。
- パスワード欄には、カメラに表示された暗号化キーを入力します。

5 プリンターを選ぶ

- プリンターが接続できるようになると、カメラに名前が表示されるので <(FUNC/SET)> を押します。
- ▶ プリンターが登録されます。

6 画像を選んで印刷する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。
- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の［🖶］を選びます（📖43）。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［印刷］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 詳しい印刷方法については、「印刷する」（📖251）を参照してください。

- 接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、手順３の操作でそのアクセスポイントにカメラが自動で接続します。アクセスポイントを変更したいときは、接続の最中に表示される画面の［ネットワーク変更］を選び、「パソコンを登録する」の手順４～５（📖210）の操作で設定してください。

- 接続したことのあるプリンターがあるときは、手順３の「接続先の機器の選択」画面に表示されるプリンターを選んで接続することができます。
- 2 回目以降に Wi-Fi メニューを表示するために <▲> を押すと、最近接続した機器が最初に表示され、<▲> か <▼> を押して機器名を選ぶだけでかんたんに接続することができます。なお、<MENU> ボタンを押して［🔧］タブにある［Wi-Fi 設定］の［接続先履歴の表示］で［切］を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。新しく接続先を登録するときは <◀> か <▶> で機器の選択画面を表示して設定します。

画像を送る

カメラに登録した接続先へカメラから Wi-Fi で画像を送信する方法について説明します。

- CANON iMAGE GATEWAY を経由して、SNS やメールなどに画像を送信することができます。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のサイトでご確認ください。
- 1 回の送信操作で画像を 50 個までまとめて送信できます。動画は、1 個のみ送信できます。ただし、接続先が Web サービスのときは、お使いの Web サービスによっては送信できる数が少なくなることがあります。詳しくは、お使いの Web サービスでご確認ください。
- 送信できる動画は 2 分以内です（ダイジェスト動画を除く）。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- 接続先がパソコンの場合は、画像を送信する操作はカメラではなくパソコン（ソフトウェアの「CameraWindow」）を使います（📖214）。

画像を 1 つずつ送信する

1 画像を選ぶ

- <◎> を回して送信したい画像を選びます。

2 送信する

- <◀> か <▶> を押して、［この画像を送信］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み［同意する］を選んで <FUNC. SET> を押します。
- ▶ 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- ▶ 画像を Web サービスに送信したときは、送信が完了すると［OK］が表示され、<FUNC. SET> を押すと再生モードの画面に戻ります。
- ▶ 画像をカメラまたはスマートフォンに送信したときは、［送信が完了しました］と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。

- ダイジェスト動画は、再圧縮されて元の動画とは別の動画として送信されます。また、この処理に時間がかかることや、カード容量の不足で送信できないことがあります。

- Wi-Fi 通信部（□4）を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
［Yıll］強、［Yıl］中、［Yı］弱、［Y］微弱
ただし、カメラをアクセスポイントにして接続しているときは、表示されません。
- カメラとの接続を切断するには、<MENU> ボタンを押して、表示される切断の確認画面で <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び <FUNC.SET> を押します。また､スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、<▲> か <▼> を押して［ ］を選んだあと、<FUNC.SET> を押します。表示された画面で <▲> か <▼> を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、<FUNC.SET> を押します。

- ［しない］を選ぶと、リサイズされず元の画像の大きさのままで送信されます。
- ［M2］か［ S ］を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。

- 動画はリサイズできません。

複数の画像を送信する

1 ［選んで送信］を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押して［選んで送信］を選び、<FUNC.SET> を押します。

2 画像を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押して送信したい画像を選び、<FUNC.SET> を押すと［✓］が表示されます。
- もう一度 <FUNC.SET> を押すと［✓］が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、<MENU> ボタンを押します。

3 送信する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［送信］を選び、<FUNC.SET> を押します。

- 手順 2 でズームレバーを <Q> 側に 2 回押すと、1 枚表示に切り換わり、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選ぶこともできます。
- 手順 3 で送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選ぶことができます（□218）。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメント（英数字、記号のみ)を入力することができます。なお､送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。

1 [ ] を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか < > を回して [ ] を選び､< > を押します。

2 コメントを入力する

- 「カメラにニックネームを登録する（初回のみ)」の手順 3（194）の操作でコメントを入力します。

3 送信する

- 「画像を送る」（217）の操作で画像を送信します。

- コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。

CANON iMAGE GATEWAY 経由で画像をパソコンに送る

カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。
なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

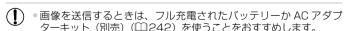
- <MENU> ボタンを押して、［ꟾꟾ］タブの［Wi-Fi 設定］を選びます（📖44）。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［サーバー経由転送］を選んだあと、<◀> か <▶> を押して［静止画＋動画］を選びます。
- 静止画のみを送信するときは、手順 2 から操作してください。

2 画像を送信する

- 「Web サービスに接続する」（📖198）の操作で［⎙］を選びます。
- ▶ 接続が完了すると画像が送信されます（約 1 分後に画面は消えます）。
- 送信が完了すると［OK］が表示され、<FUNC/SET> を押すと再生モードの画面に戻ります。
- ▶ CANON iMAGE GATWAY のサーバーに画像が転送されると画面に［⎙］が表示されます。

3 パソコンを起動する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。

- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（📖242）を使うことをおすすめします。

- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション「CameraWindow」（□200）で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。

- 撮影前に「日付／時刻を設定する」（□20）で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、[エリア設定]（□230）で訪問先のエリアを設定してください。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報を記録するため、操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります（□202）。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

- 撮影時に GPS 情報を記録した画像に、スマートフォンから GPS 情報を記録（上書き）することはできません。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する

登録してある接続先の情報を編集します。カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）の変更や、接続情報の消去などが行えます。
ここでは、接続先がパソコンのときの手順について説明します。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- <▲> を押すと最近使用した機器が表示されるので、<◀> か <▶> を押して Wi-Fi メニューを表示します。

2 編集する機器を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して編集したい機器のアイコンを選び、<FUNC. SET> を押します。

3 ［接続先の機器の編集］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［接続先の機器の編集］を選び、<FUNC/SET> を押します。

4 編集する接続先を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して編集したい接続先を選び、<FUNC/SET> を押します。

5 編集する項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して編集する項目を選び、<FUNC/SET> を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
	📷	📱	💻	🖨	Web サービス
［ニックネームの変更］（📖224）	O	O	O	O	–
［画像の公開設定］（📖202）	–	O	–	–	–
［接続情報を消去］（📖224）	O	O	O	O	–

O：設定可 –：設定不可

接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。

- 「接続情報を編集する」の手順5（□223）の操作で［ニックネームの変更］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- 入力欄を選んで <(FUNC/SET)> を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします（□194）。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。

- 「接続情報を編集する」の手順5（□223）の操作で［接続情報を消去］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

- ［消去しますか?］が表示されたら、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。

▶ 接続情報が消去されます。

Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。

1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[ƳT] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (□44)。

2 [設定の初期化] を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [設定の初期化] を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 初期化する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ Wi-Fi の設定が初期化されます。

- Wi-Fi の設定を初期化すると、パソコンを使って設定した Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。また、「CANON iMAGE GATEWAY 経由で画像をパソコンに送る」(□221)の設定を解除するときは、カメラとパソコンを接続して、CameraWindow で連携情報を削除してください。
- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[ƳT] タブの [カメラ設定初期化] を選びます。

9

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

メニューの［ ］タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます（44）。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。

- ［消音］を選び、［する］を選びます。

- <DISP.> ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき（150）の音声も鳴らなくなります。動画再生中に <▲> を押すと音声が鳴り、<▲> か <▼> を押すと音量を調整できます。
- ［ ］モード（97）では、音の設定は変えられません。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。

- ［音量］を選び、<FUNC./SET> を押します。
- 項目を選び、<◀> か <▶> を押して音量を変えます。

機能の説明を表示しない

FUNC. メニュー（□43）やメニュー（□44）で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。

- ［機能ガイド］を選び、［切］を選びます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。

- ［日付 / 時刻］を選び <FUNC./SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押して項目を選び、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。
なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（□20）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。

1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、<FUNC./SET> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [✈訪問先] を選び、<FUNC./SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して訪問先エリアを選びます。
- <▲> か <▼> を押して [☀] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- <FUNC./SET> を押します。

2 訪問先のエリアに切り換える

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［✈訪問先］を選び、<MENU> ボタンを押します。
- ▶ 撮影画面（□276）に［✈］が表示されます。

- ［✈］の状態で日付／時刻を変える（□21）と、［🏠自宅］の日時も自動的に変わります。

GPS 機能やロガー機能を使う

GPS 機能やロガー機能が使えるように設定できます。設定したあとの使いかたについては「GPS 機能を使う」(□50）を参照してください。

- ［GPS 設定］を選び、<FUNC.SET> を押します。
- GPS 機能が使えるようにするときは、［GPS］を選んだあと、［入］を選びます。
- ロガー機能が使えるようにするときは、上記の操作で［GPS］を［入］にしてから、［ロガー］を選んだあと、［入］を選びます。
- <MENU> ボタンを押すと GPS 機能やロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認した上で <FUNC.SET> を押します。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から <▶> ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます（□40）。<▶> ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を［0 秒］に設定します。

- ［レンズ収納時間］を選び、［0 秒］を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。

1 設定する

- ［エコモード］を選び、［入］を選びます。
- ▶ 撮影画面（276）に［ECO］が表示されます。
- ▶ カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その 10 秒後に画面が消えます。約3分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（40）。

- ［節電］を選び <FUNC SET> を押します。
- 項目を選んだあと、<◀> か <▶> を押して設定を変えます。

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、［オートパワーオフ］を［入］にし、［ディスプレイオフ］を［1 分］以下にすることをおすすめします。

- ［ディスプレイオフ］は、［オートパワーオフ］が［切］のときも働きます。
- エコモード（232）を［入］にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。

● ［液晶の明るさ］を選び、<◀> か <▶> を押して明るさを変えます。

• 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに <DISP.> ボタンを 2 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（［ƒ†］タブの［液晶の明るさ］設定は無効になります）。もう一度 <DISP.> ボタンを 2 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を表示しない

電源を入れたときに、起動画面を表示しないようにできます。

● ［起動画面］を選び、［切］を選びます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 ［カードの初期化］画面を表示する

- ［カードの初期化］を選び <FUNC. SET> を押します。

2 ［OK］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して［キャンセル］を選んで <◀> か <▶> を押すか、<◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 初期化する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押すと初期化がはじまります。
- 初期化が終わると［カードの初期化が完了しました］が表示されるので、<FUNC. SET> を押します。

- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。

- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

［カードが異常です］のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。

- 「カードを初期化する」の手順1（□234）の画面で、<▲>か<▼>を押すか<◎>を回して［物理フォーマット］を選び、<◀>か<▶>を押して［✓］を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2～3（□234）の操作で、初期化（物理フォーマット）します。

- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」（□234）よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に［中止］を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。

- [画像番号] を選び、内容を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。

- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化（□234）したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアの使用説明書」（□29）を参照してください。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。

- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- ▶ 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

距離表示の単位を変える

MF インジケーター（□130）、ズームバー（□60）などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート／インチ）に変えることができます。

● ［単位］を選び、［ft/in］を選びます。

● ［単位］を変えると GPS 情報（標高）（□51）の表示単位も変わります。

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。

● ［認証マーク表示］を選び、<FUNC SET> を押します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。

- ［言語］を選び <FUNC/SET> を押します。
- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して言語を選び、<FUNC/SET> を押します。

- 再生モードにして、<FUNC/SET> を押したまま、すぐに <MENU> ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

その他の基本機能を変える

次の機能も［YT］タブで設定できます。

- ［ビデオ出力方式］（📖249）
- ［HDMI 機器制御］（📖247）
- ［GPS 自動時刻設定］（📖55）
- ［GPS 設定］の［ログファイル表示］（📖54）、［アシストデータ］（📖56）
- ［Wi-Fi 設定］（📖187）

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

- ［カメラ設定初期化］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ▶ カメラが初期状態に戻ります。

- 次の機能は初期状態に戻りません。
  - 個人認証機能で登録した内容（76）
  - ［YT］タブの［日付 / 時刻］（229）、［言語］（238）、［エリア設定］（230）、［ビデオ出力方式］（249）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（125）
  - 撮影モード（100）
  - Wi-Fi 機能で登録した内容（187）

10

アクセサリー

付属のアクセサリーを上手に使ったり、別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

別売アクセサリー

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源

バッテリーパック NB-6L

● 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LY

● バッテリーパック NB-6L 用のバッテリーチャージャーです。

- バッテリーにはカバーがついているので、充電したバッテリーは ▲ が見えるように、充電前のバッテリーは ▲ が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。

AC アダプターキット ACK-DC40

● 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。

- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ

ハイパワーフラッシュ HF-DC2

- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。

その他

ウォータープルーフケース WP-DC49

- カメラに取り付けると、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深 40 m 以内での水中撮影を楽しめます。

ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST

- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。

HDMI ケーブル HTC-100

- カメラと HD（ハイビジョン）対応テレビの HDMI 端子をつなぐケーブルです。

インターフェースケーブル IFC-400PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。

プリンター

キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- キヤノン製の PictBridge 対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログでご確認いただくか、お客様相談センターへお問いあわせください。

静止画 動画

別売アクセサリーの使いかた

静止画 動画

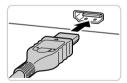
テレビで見る

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（278）。

静止画 動画

HD（ハイビジョン）対応テレビで見る

HDMI ケーブル HTC-100（別売）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、［1920］や［1280］で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。
- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。

- 付属のインターフェースケーブルやステレオ AV ケーブル（別売）と、HDMI ケーブル HTC-100 は、カメラへ一緒に差し込めません。無理に差し込むと故障の原因になることがあります。

- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

静止画　動画

テレビのリモコンで操作する

HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）対応のテレビとカメラをつなぐと、テレビのリモコンで画像の切り換えや、スライドショーなどの操作ができます。
テレビによっては、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの使用説明書を参照してください。

1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［ƒ†］タブの［HDMI 機器制御］を選び、［入］を選びます（□44）。

2 テレビとカメラをつなぐ

- 「HD（ハイビジョン）対応テレビで見る」の手順 1 ～ 2（□245）の操作でテレビとカメラをつなぎます。

3 画像を表示する

- テレビの電源を入れ、カメラの <▶> ボタンを押します。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。

4 テレビのリモコンで操作する

- リモコンの <◀> か <▶> で画像を選びます。
- 決定ボタンを押すとテレビに操作パネルが表示されます。<◀> か <▶> で項目を選び、もう一度決定ボタンを押します。

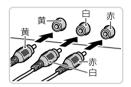
テレビに表示される操作パネル一覧

	戻る	メニューが消えます。
	グループ再生	[ ] モード（98）、[ ] モード（115）で撮影された画像を表示します（グループ化された画像を選んでいるときのみ表示）。
▶	動画再生	動画を再生します（動画を選んでいるときのみ表示）。
	スライドショー	画像を自動的に再生します。再生中にリモコンの <◀> か <▶> を押すと画像を切り換えられます。
	インデックス表示	画像を一覧で表示します。
DISP.	情報表示切り換え	画面の表示を切り換えます（42）。

- カメラの <MENU> ボタンを押すなど、カメラを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで 1 枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- ズームレバーを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで 1 枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）に対応したテレビであっても、正しく動作しないことがあります。

静止画 動画

HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る

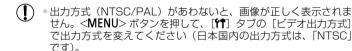
2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。

- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。

3 画像を表示する

- 「HD（ハイビジョン）対応テレビで見る」の手順 3 ～ 4（□246）の操作で画像を表示します。

- 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。<MENU> ボタンを押して、［⚙］タブの［ビデオ出力方式］で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。

- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ピント位置拡大（□90）、MF 拡大表示（□130）はできません。

静止画　動画

家庭用電源でカメラを使う

AC アダプターキット ACK-DC40（別売）を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

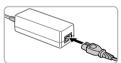
1 カメラの電源を切る

端子

2 カプラーを入れる

- 「バッテリーとカードを入れる」の手順 2（□18）の操作でふたを開きます。
- カプラーを図の向きにして、「バッテリーとカードを入れる」の手順 3（□18）のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカプラーを入れます。
- 「バッテリーとカードを入れる」の手順 5（□19）の操作でふたを閉めます。

3 プラグをカプラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカプラーの端子にしっかりと差し込みます。

4 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

静止画　動画

印刷する

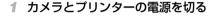
撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。
なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

かんたん印刷

撮影した画像は、カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を付属のインターフェースケーブル（📖2）でつないで、かんたんに印刷できます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

6 印刷画面を表示する

- <(FUNC/SET)> を押したあと、[⎙] を選び、もう一度 <(FUNC/SET)> を押します。

7 印刷する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［印刷］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 から繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。

- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」(□244）を参照してください。

静止画

印刷設定をする

1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6（📖251 ～ 252）の操作で左の画面を表示します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選び、<◀> か <▶> を押して内容を選びます。

	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	–
	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	切	–
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	–	印刷する範囲を指定します（📖254）。
用紙設定	–	用紙サイズやレイアウトなどを指定します（📖255）。

静止画

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。

1 ［トリミング］を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1（□253）の操作で印刷画面を表示したあと、［トリミング］を選び、<(FUNC/SET)> を押します。
- ▶ 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。

2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かすか <◎> を回して枠の大きさを変えます。
- <▲><▼><◀><▶> を押して枠の位置を変えます。
- <DISP.> ボタンを押すと枠が回転します。
- <(FUNC/SET)> を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7（□252）の操作で印刷します。

- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
- カメラで［日付写し込み］の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

静止画

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

1 ［用紙設定］を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1（253）の操作で印刷画面を表示したあと、［用紙設定］を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 用紙サイズを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して内容を選び、<FUNC. SET> を押します。

3 用紙タイプを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して内容を選び、<FUNC. SET> を押します。

4 レイアウトを選ぶ

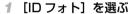
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して内容を選びます。
- ［複数画像］を選んだときは、<◀> か <▶> を押して印刷枚数を選びます。
- <FUNC. SET> を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数が L で、縦横比が 4:3 の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L 判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

静止画

証明写真を印刷する

1 ［ID フォト］を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1 ～ 4 (255) の操作で ［ID フォト］ を選び、<FUNC.SET> を押します。

2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選んだあと、<◀> か <▶> を押して長さを選び、<FUNC.SET> を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する（トリミング）」の手順 2（254）の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

動画

動画を印刷する

1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6（📖251 ～ 252）の操作で動画を選び、左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［ ］を選び、<◀> か <▶> を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。［キャプション］を［入］にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。

- 印刷中に <FUNC/SET> を押すと、印刷を中止します。
- CP720 ／ CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、［ID フォト］や［連続コマ］は指定できません。

静止画

印刷指定（DPOF）

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷（261）や写真店への印刷注文をすることができます（最大 998 画像）。なお、この指定方法は、DPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。

静止画

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。

- <MENU> ボタンを押して、［凸］タブの［印刷の設定］を選んだあと、項目を選び、設定します（44）。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	–
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	–
印刷後指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	–

- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、［!］が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- ［日付］を［入］に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。

- ［インデックス］に設定したときは、［日付］と［画像番号］の両方を［入］にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、［YT］タブの［日付 / 時刻］で設定した内容で印刷されます（□20）。

静止画

1 枚ずつ枚数を指定する

1 ［印刷する画像を指定］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［凸］タブの［印刷する画像を指定］を選び、<FUNC/SET>を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC/SET> を押します。
- ▶ 枚数指定ができるようになります。
- ［インデックス］では、指定されると［✓］が表示され、もう一度 <FUNC/SET> を押すと解除されて［✓］が消えます。

3 枚数を設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- ［インデックス］では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

範囲で指定する

- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (□259) の操作で［範囲で指定］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (□168) の操作で指定します。
- <▲> か <▼> を押して［画像指定］を選び、<FUNC. SET> を押します。

静止画

すべての画像を指定する

- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (□259) の操作で［すべての画像を指定］を選び、<FUNC. SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC. SET> を押します。

静止画

すべての指定を解除する

- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1（□259）の操作で［すべての指定を解除］を選び、<FUNC/SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<FUNC/SET> を押します。

静止画

印刷指定（DPOF）した画像を印刷する

- 印刷指定した画像（□258 ～ 260）があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐと左の画面が表示されます。<▲> か <▼> を押して［すぐに印刷］を選び、<FUNC/SET> を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

静止画

フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定（最大 998 画像）し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときやお使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［フォトブック指定］を選んだあと、指定方法を選びます。

- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

- パソコンに取り込んだあとは「ソフトウェアの使用説明書」(📖29）やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

1枚ずつ指定する

1 ［画像指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」（262）の操作で［画像指定］を選び、<FUNC. SET> を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<FUNC. SET> を押します。
- ［✓］が表示されます。
- もう一度 <FUNC. SET> を押すと解除され、［✓］が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

すべての画像を指定する

- 「指定方法を選ぶ」(□262)の操作で［すべての画像を指定］を選び、<FUNC./SET>を押します。
- <◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［OK］を選び、<FUNC./SET>を押します。

静止画

すべての指定を解除する

- 「指定方法を選ぶ」(□262)の操作で［すべての指定を解除］を選び、<FUNC./SET>を押します。
- <◀>か<▶>を押すか<◎>を回して［OK］を選び、<FUNC./SET>を押します。

11

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください（□16）。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください（□18）。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください（□19）。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどでバッテリーを温めてからお使いください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード／バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください（□19）。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる（□249）

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき（□149）は、シャッターボタンを半押ししてください（□41）。

暗い場所での画面表示がおかしい（□42）

撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- ［日付 / 時刻］の設定（□20）だけでは写し込まれませんので、［日付写し込み ］を設定してください（□75）。
- ［日付写し込み ］が設定（□75）できない撮影モード（□290 ～ 291）では、写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、画面に［ ］が点滅表示されて撮影できない（□65）

シャッターボタンを半押ししたときに、［ ］が表示される（□74）

- ［手ブレ補正］を［入］にしてください（□140）。
- ストロボモードを［ ］にしてください（□137）。
- ISO 感度を高くしてください（□122）。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（□140）。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください（□41）。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください（□297）。
- ［AF 補助光］を［入］にしてください（□92）。
- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください（□132、136）。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボモードを［ ］にしてください（□137）。
- 露出補正で明るさを補正してください（□121）。
- i- コントラストで補正してください（□123、182）。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください（□121、122）。

被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボモードを［ ］にしてください（□74）。
- 露出補正で明るさを補正してください（□121）。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください（□121、122）。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる（□65）
- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（□297）。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください（□138、147）。
- ISO 感度を高くしてください（□122）。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）
- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（□297）。
- ストロボモードを［⚡］にしてください（□74）。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください（□138、147）。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る
- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる
- ISO 感度を低くして撮影してください（□122）。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります（□101）。

目が赤く写る（□87）
- ［赤目緩和ランプ］を［入］に設定してください（□92）。ストロボ撮影のときは、ランプ（前面）（□4）が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください（□183）。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった
- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください（□235）。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない
- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」（□280 ～ 291）で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない
- 赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能（□76）で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす（□76）か、日付 / 時刻を正しく設定してください（□229）。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される
- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています（□234、297）。

画面に［❗］が表示され、撮影が自動的に終わった
カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
- カードをこのカメラで物理フォーマットする（📖235）。
- 画質を変える（📖88）。
- 書き込み速度の速いカードを使う（📖297）。

ズームできない
- ［🎬］モード（📖106）では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える
- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

画面や記録される動画が暗くなる
- ［1920 60］（📖116）では、他の画質を選んでいるときに比べて、室内などの暗いシーンで画面や記録される動画が暗くなることがあります。

再生

再生できない
- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」（📖29）を参照してください。

再生が中断する、または音声が途切れる
- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください（📖235）。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない
- ［消音］を［する］に設定（📖228）しているときや、音声が小さいときは、音量を調整してください（📖151）。
- ［🎬］モード（📖106）では音声が録音されていないため、音は出ません。

カード

カードが認識されない
- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください（📖18）。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。

- <▶> ボタンを押して再生モードにしたあと、<MENU> ボタンを押したまま、<▲> と <FUNC SET> を同時に押します。表示された画面で <◀> か <▶> を押して［B］を選び、<FUNC SET> を押します。

Wi-Fi

<▲> を押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 再生モードでも、詳細情報表示、拡大表示、一覧表示（インデックス表示）のとき、Wi-Fi メニューは表示できません。詳細情報表示以外の 1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときも Wi-Fi メニューは表示できません。検索した画像の再生状態を解除してください。
- カメラをプリンター、パソコンまたはテレビとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください（□222）。
- Web サービスを登録先として設定するには、「CameraWindow」をインストールして、「CameraWindow」で設定してください（□31）。
- スマートフォンを接続先として登録するには、スマートフォンに専用アプリケーション「CameraWindow」をインストールしてから行ってください（□200）。
- パソコンを接続先として登録するには、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください（□206、208）。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

画像をリサイズして送信できない

- 元の画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／ Wi-Fi 接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時に［M2］または［S］を選択してリサイズすると、送信時間を短くできます（218）。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、［Y.ıl］が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 画像をパソコンに送信するときは、メモリーカードに大量の画像（約 1000 枚）が保存されていると、接続が切断されることがあります。必要な画像をパソコンに取り込んでから、メモリーカード内の画像を削除して減らしてください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください（225）。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます（📖19）。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます（📖18）。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます（📖19）。

カードが異常です（📖235）

- 使えるカード（📖2）を初期化して正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください（📖19）。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影（📖59、95、119、143）や編集（📖178 ～ 183）はできません。画像を消して（📖170）空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します（📖18）。

バッテリーを充電してください（📖16）

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています（📖166）

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません（MOV）

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、* の機能が使えません。
  認証情報の編集（📖160 ～ 161）*、拡大（📖162）*、連想再生（📖165）*、回転（📖174）、編集（📖178 ～ 183）*、印刷指定（📖258）*、フォトブック指定（📖262）*
- グループ化された状態では処理できません（📖99）。

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定（📖168、173、260）するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定（📖258）やフォトブック指定（📖262）の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定（📖258）やフォトブック指定（📖262）を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護（📖166）、消去（📖170）、お気に入り（📖176）、印刷指定（📖258）、フォトブック指定（📖262）で、501 枚以上の画像を指定しようとしました。

通信エラー

- カードに大量の画像（1000 枚程度）があるため、パソコンに画像を取り込んだり印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー（市販品）を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大（999）になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大（9999）になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔧] メニューで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか（📖236）、カードを初期化します（📖234）。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました（エラー番号）

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号（Exx）を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷（📖251）できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください（📖255）。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください（📖206）。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

Wi-Fi の暗号化キーが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティー設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティー設定を確認してください（📖206）。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました
カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました
カード残量が足りません

- 受信するカメラのカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました
カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました
ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- サーバー経由転送（□221）で送信した画像をパソコンに保存してください。

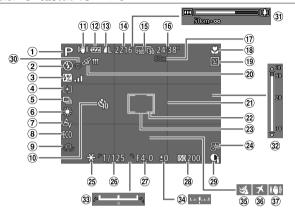
SSL 証明書が無効です
パソコンと接続し付属のソフトウェアで設定し直してください

- カメラに設定されている日付／時刻の設定が正しいか確認してください。正しいことを確認したら、画面の指示にしたがって設定をやり直してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

画面の表示内容一覧

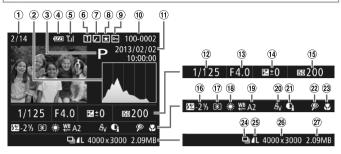
撮影時（情報表示あり）

① 撮影モード（□280 ～ 281）、シーンアイコン（□67）
② ストロボモード（□74、137）
③ ストロボ調光補正／発光量（□138、147）
④ 測光方式（□122）
⑤ ドライブモード（□128）
⑥ ホワイトバランス（□124）
⑦ マイカラー（□126）
⑧ エコモード（□232）
⑨ 手ブレ警告（□65）
⑩ セルフタイマー（□72）
⑪ 手ブレ補正アイコン（□69）
⑫ バッテリー残量表示（□277）
⑬ 静止画の圧縮率（□140）、記録画素数（□86）
⑭ 撮影可能枚数（□296）
⑮ 動画の画質（□88）
⑯ 撮影可能時間（□297）
⑰ ズーム倍率（□71）、デジタルテレコンバーター（□131）
⑱ フォーカスゾーン（□102、129、130）、AF ロック（□136）
⑲ 目つむり検出（□91）
⑳ GPS 受信状態（□50）
㉑ グリッドライン（□89）
㉒ スポット測光枠（□122）
㉓ AF フレーム（□132）
㉔ 日付写し込み（□75）
㉕ AE ロック（□121）、FE ロック（□139）
㉖ シャッタースピード（□144、146）
㉗ 絞り数値（□145、146）
㉘ ISO 感度（□122）
㉙ i- コントラスト（□123）

㉚ 赤目自動補正
(□87)
㉛ ズームバー
(□60)
㉜ MFインジケーター
(□130)
㉝ 露出シフトバー
(□117)
㉞ 露出補正量
(□121)、
露出レベル
(□146)
㉟ ウィンドカット
(□66)
㊱ エリア設定
(□230)
㊲ 手ブレ補正
(□140)

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
(バッテリー残量表示：3目盛)	十分です。
(バッテリー残量表示：2目盛)	少し減っていますが、まだ使えます。
(バッテリー残量表示：1目盛) （赤く点滅）	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時（詳細情報表示）

① 再生画像番号／総画像数
② ヒストグラム（152）
③ 撮影モード（280 ～ 281）
④ バッテリー残量表示（277）
⑤ Wi-Fi 電波の状態（218）
⑥ サーバー経由転送済み画像（221）
⑦ 画像編集（178 ～ 183）
⑧ お気に入り（176）
⑨ 保護（166）
⑩ フォルダ番号－画像番号（236）
⑪ 撮影日時（20）
⑫ シャッタースピード（静止画）（144、146）、画質 / フレーム数（動画）（88）
⑬ 絞り数値（145、146）、動画の画質（88）
⑭ 露出補正量（121）、露出シフト量（117）
⑮ ISO 感度（122）、倍速（107）、再生速度（118）
⑯ ストロボ調光補正／発光量（138、147）
⑰ 測光方式（122）
⑱ ホワイトバランス（124）
⑲ ホワイトバランス補正（103）
⑳ マイカラー（126、181）
㉑ i- コントラスト（123、182）
㉒ 赤目補正（87、183）
㉓ フォーカスゾーン（102、129、130）
㉔ 動画（60、150）、スポーツ（98）、ハイスピード連写 HQ（115）
㉕ 静止画の圧縮率（140）、記録画素数（86）、再生時間（動画）
㉖ 記録画素数
㉗ ファイルサイズ

- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（245）。

「見る」（150）で表示される動画操作パネル一覧

↩	終了
▶	再生
I▶	スロー再生（<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して再生速度を変更）（音声は再生されません）
I◀	前スキップ*または前のチャプター（64）（<FUNC SET> を押したままにすると連続戻し）
◀II	フレーム戻し（<FUNC SET> を押したままにすると早戻し）
II▶	フレーム送り（<FUNC SET> を押したままにすると早送り）
▶I	次スキップ*または次のチャプター（64）（<FUNC SET> を押したままにすると連続送り）
✂	編集（184）
🖶	PictBridge 対応プリンターとつないだとき（251）に表示

＊約 4 秒前または後のフレームを表示

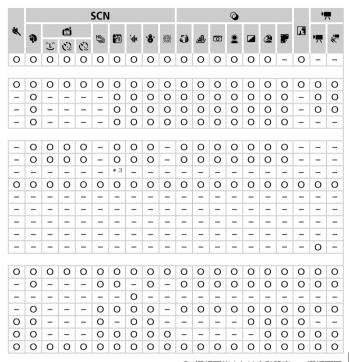
- 動画再生中に <◀> か <▶> を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

機能／メニュー一覧

撮影機能一覧

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P	LIVE	[シーン]	AUTO
露出補正（□121）		−	○	○	○	○	−	−
セルフタイマー（□72）								
	[OFF]	○	○	○	○	○	○	○
	[10] [2] [C]	○	○	○	○	○	○	○
セルフタイマー設定（□73）	時間＊1	○	○	○	○	○	○	○
	枚数＊2	○	○	○	○	○	−	○
ストロボ（□74、137）								
	[オート]	−	−	−	○	○	○	○
	[強制発光]	○	○	○	○	○	−	−
	[スローシンクロ]	−	○	−	○	○	＊3	＊3
	[発光禁止]	○	○	○	○	○	○	○
絞り数値（□145、146）		○	○	−	−	−	−	−
シャッタースピード（□144、146）		○	−	○	−	−	−	−
プログラムシフト（□121）		−	○	○	○	−	−	−
AE ロック /FE ロック（□121、139）＊4		−	○	○	○	−	−	−
AE ロック（動画）/ 露出シフト（□117）		−	−	−	−	−	−	−
フォーカスゾーン（□102、129、130）								
	[通常]	○	○	○	○	○	○	○
	[マクロ]	○	○	○	○	○	−	−
	[無限遠] [サーボ]	−	−	−	−	−	−	−
	MF	○	○	○	○	○	−	−
キャッチ AF 被写体指定（□134）		○	○	○	○	○	−	−
画面の表示（□42）	情報表示なし	○	○	○	○	○	○	○
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○

＊ 1 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可
＊ 2 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定
＊ 3 選択不可。ただし状況に応じて［スローシンクロ］
＊ 4 FE ロックは［発光禁止］では不可

	SCN																		
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	O	–	–	–	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	O
–	O	–	–	–	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	O
–	O	–	–	–	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	O	O	O	O	–	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	O	O	O	O	–	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	–	–	–	–	–	＊3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	O	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	O	–	–	–	O	O	–	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	O	–	–	–	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	–	–	–	O	–	O	O	–	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	O	–	–	–	O	O	O	O	O	–	–	–	–	–	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O

O 選択可能または自動設定　–　選択不可

FUNC. メニュー 一覧

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P	LIVE	（シーン）	AUTO
GPS 設定(□50)	（GPS アイコン）	○	○	○	○	－	○	○
測光方式（□122）								
	（評価測光）	○	○	○	○	○	○	○
	（中央部重点平均測光・スポット測光）	○	○	○	○	－	－	－
マイカラー（□126）								
	OFF	○	○	○	○	○	○	○
	V N Se BW P L D B G R C	○	○	○	○	－	－	－
ホワイトバランス（□124）								
	AWB	○	○	○	○	○	○	○
	（太陽光・くもり・電球・蛍光灯・蛍光灯H・水中）	○	○	○	○	－	－	－
	（マニュアル）	○	○	○	○	－	－	－
ホワイトバランス補正(□103)	B5 ～ 0 ～ A5	－	－	－	－	－	－	－
ISO 感度（□122）								
	ISO AUTO	－	○	○	○	○	○	○
	ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200 ISO 6400	○	○	○	○	－	－	－
ストロボ調光補正（□138）		－	○	○	○	－	－	－
ストロボ発光量（□147）		○	○	○	－	－	－	－
ドライブモード（□128）								
	（1 枚撮影）	○	○	○	○	○	○	○
	（オート連続撮影）	－	－	－	－	－	－	○
	（連続撮影）	○	○	○	○	－	－	－
	（AF 連続撮影）＊1	○	○	○	○	－	－	－
静止画アスペクト比(□85)	16:9 3:2 4:3 1:1	○	○	○	○	－	－	○
記録画素数（□86）								
	L	○	○	○	○	○	○	○
	M1 M2 S	○	○	○	○	－	○	○

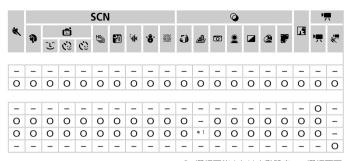
＊ 1［MF］時、AF ロック時、［（アイコン）］時は［LV（連続撮影）］
＊ 2［4:3］［16:9］のみ選択可

	SCN																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–
–	–	○	○	○	–	–	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–
–	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	○	–	–	–	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
○	–	–	–	–	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	–	*2	–	–	○	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○

○ 選択可能または自動設定　– 選択不可

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P	LIVE	[A]	AUTO
圧縮率（140）								
	S	O	O	O	O	–	–	–
	L	O	O	O	O	O	O	O
動画の画質（88、116）								
	1920 60	–	–	–	–	–	–	–
	1920 30	O	O	O	O	O	O	O
	1280 30 640 30	O	O	O	O	–	O	O
	240 120	–	–	–	–	–	–	–

＊1 縦横比の設定に連動して自動設定（107）

	SCN									◎									
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	O	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	*1	O	O	O	O	O	O	O	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	O

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

撮影タブメニュー 一覧

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P	LIVE	(アイコン)	AUTO
AF フレーム（132）								
	顔優先 AiAF＊1	O	O	O	O	O	O	O
	キャッチ AF	O	O	O	O	O	–	–
	中央	O	O	O	O	O	–	–
AF フレームサイズ（132）＊2								
	標準	O	O	O	O	O	–	–
	小	O	O	O	O	O	–	–
デジタルズーム（71、131）								
	入	O	O	O	O	O	O	O
	切	O	O	O	O	O	O	O
	テレコン 1.5x、テレコン 2.0x	O	O	O	O	O	–	–
ピント位置拡大（90）								
	入	O	O	O	O	O	–	O
	切	O	O	O	O	O	O	O
サーボ AF（135）								
	入	O	O	O	O	O	–	–
	切	O	O	O	O	O	O	＊3
コンティニュアス AF（136）								
	入	O	O	O	O	O	O	O
	切	O	O	O	O	O	–	–
AF 補助光（92）								
	入	O	O	O	O	O	O	O
	切	O	O	O	O	O	O	O
MF 拡大表示（130）								
	入	O	O	O	O	O	–	–
	切	O	O	O	O	O	O	O
セーフティ MF（130）								
	入	O	O	O	O	O	–	–
	切	O	O	O	O	O	O	O

＊ 1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる
＊ 2 AF フレームで［中央］選択時に可
＊ 3 動きを検出したときは［入］

	SCN									◎								🎥	
–	○	○	○	○	○	○	–	○	–	–	–	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	–	–	–	○	–	○	○	–	–	–	–	–	○	○	○	○	–	–
○	○	–	–	–	○	–	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○
–	○	–	–	–	○	–	○	○	–	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○
–	○	–	–	–	○	–	○	○	–	–	–	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–
○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	○	○	○	○	○	–	○	○	–	–	–	–	–	○	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	–	–	–	–	–	○	○	–	–	–	–	–	○	○	○	○	–	–
–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	○	–	–	–	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
–	○	○	○	○	○	○	–	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	○	–	–	–	○	–	○	○	–	–	–	–	–	○	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	○	–	–	–	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 – 選択不可

機能		撮影モード	M	Av	Tv	P	LIVE		AUTO
ストロボ設定（87、92、138、147）									
	発光モード	オート	–	○	○	○	○	○	○
		マニュアル	○	○	○	–	–	–	–
	調光補正		–	○	○	○	–	–	–
	発光量		○	○	○	–	–	–	–
	赤目自動補正	入	○	○	○	○	–	○	○
		切	○	○	○	○	○	○	○
	赤目緩和ランプ	入	○	○	○	○	○	○	○
		切	○	○	○	○	○	○	○
	セーフティFE	入	–	○	○	○	○	○	○
		切	○	○	○	○	○	–	–
i- コントラスト（123）									
	自動		○	○	○	○	–	○	○
	切		○	○	○	○	○	–	–
セーフティシフト（145）									
	入		–	○	○	–	–	–	–
	切		○	○	○	○	○	○	○
ウィンドカット（66）	自動、切		○	○	○	○	○	○	○
撮影直後のレビュー表示（93）									
	表示時間	切、クイック、2 秒、4 秒、8 秒、ホールド	○	○	○	○	○	○	○
	表示情報	非表示、詳細表示	○	○	○	○	○	○	○
目つむり検出（91）									
	入		○	○	○	○	○	○	○
	切		○	○	○	○	○	○	○
グリッドライン（89）									
	入、切		○	○	○	○	○	○	○

	SCN																		
–	○	○	○	○	–	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	○	○	○	○	–	○	–	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	○	○	○	○	–	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–
–	○	○	○	○	–	○	–	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–
–	○	○	○	○	–	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–
–	○	○	○	○	–	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
–	○	○	○	○	–	–	–	○	–	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定　– 選択不可

機能 ＼ 撮影モード			M	Av	Tv	P	LIVE	[シーン]	AUTO
手ブレ補正設定（□140）									
	手ブレ補正	切	O	O	O	O	O	O	O
		入	O	O	O	O	O	O	O
	ダイナミック IS	撮影時	O	O	O	O	O	–	–
		1	O	O	O	O	O	O	O
		2	O	O	O	O	O	–	O
日付写し込み（□75）									
	切		O	O	O	O	O	O	O
	日付のみ、日付＋時刻		O	O	O	O	O	O	O
個人認証設定（□76）			O	O	O	O	O	O	O

	SCN																		
O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	–
O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	–	–	O	O	O	–	–	–	–	–	–	–	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	228
音量	229
機能ガイド	229
日付/時刻	20
エリア設定	230
GPS 自動時刻設定	55
GPS 設定	50、231
レンズ収納時間	231
エコモード	232
節電	40、232
液晶の明るさ	233
起動画面	233
カードの初期化	234、235
画像番号	236
フォルダ作成	236
単位	237
ビデオ出力方式	249
HDMI 機器制御	247
Wi-Fi 設定	187
認証マーク表示	237
言語	22
カメラ設定初期化	239

▶ 再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
スライドショー	📖163
消去	📖170
保護	📖166
回転	📖174
お気に入り	📖176
フォトブック指定	📖262
i- コントラスト	📖182
赤目補正	📖183
トリミング	📖179
リサイズ	📖178
レタッチマイカラー	📖181
認証情報	📖155
スクロール再生	📖151
グループ表示	📖158
縦横自動回転	📖175
再生開始位置	📖151
再生効果	📖151

印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	–
印刷する画像を指定	📖259
範囲で指定	📖260
すべての画像を指定	📖260
すべての指定を解除	📖261
印刷の設定	📖258

再生モードの FUNC. メニュー 一覧

項目	参照ページ
回転	📖174
印刷指定	📖258
保護	📖166
お気に入り	📖176
グループ再生	📖158
動画再生	📖150
ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖154
連想再生	📖165
画像の検索	📖157
スライドショー	📖163

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーを長期間保管するときは、バッテリーを使い切ってカメラから取り出し、ビニール袋などに入れて保管してください。バッテリーを使い切らずに長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリー寿命を縮めたり、性能が劣化することがあります。

主な仕様

カメラ部有効画素数（最大）	約 1210 万画素
レンズ焦点距離	20 倍ズーム：4.5 (W) – 90.0 (T) mm （35mm フィルム換算：25 (W) – 500 (T) mm）
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶 有効画素数：約 46.1 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応（Version 1.1）
データタイプ	静止画：Exif 2.3（JPEG） 動画：MP4（映像：MPEG4-AVC / H.264） 音声：MPEG2 AAC-LC（ステレオ） GPS ログファイル：NMEA 0183 メッセージ形式に準拠
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 アナログ音声出力（ステレオ） アナログ映像出力（NTSC/PAL）
電源	バッテリーパック NB-6L AC アダプターキット ACK-DC40
大きさ（CIPA 準拠）	106.4 x 62.8 x 32.6 mm
質量（CIPA 準拠）	約 233 g（電池・メモリーカード含む） 約 210 g（本体のみ）
Wi-Fi 規格	IEEE802.11b/g/n＊ ＊2.4 GHz 帯のみ
Wi-Fi 伝送方式	OFDM 変調方式（IEEE802.11g/n） DSSS 変調方式（IEEE802.11b）
Wi-Fi 通信モード	インフラストラクチャーモード*、アドホックモード ＊Wi-Fi Protected Setup に対応
Wi-Fi 対応チャンネル	1-13 ch
Wi-Fi セキュリティー	WEP、WPA-PSK（AES/TKIP)、 WPA2-PSK（AES/TKIP）

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数		約 210 枚
	エコモード時	約 260 枚
動画撮影時間＊1		約 25 分
	連続時＊2	約 1 時間
再生時間		約 3 時間 30 分

＊1 カメラの初期状態で、撮影 / 一時停止、電源の入 / 切、ズームなどの操作をしたときの時間です。

＊2「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。

- 撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）

記録画素数（ピクセル）	圧縮率	1 枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
		8 GB	32 GB
L（ラージ） 12M/4000x3000	S	1379	5568
	N	2192	8850
M1（ミドル 1） 6M/2816x2112	S	2431	9814
	N	3721	15020
M2（ミドル 2） 2M/1600x1200	S	7442	30040
	N	12927	52176
S（スモール） 0.3M/640x480	S	27291	110150
	N	40937	165225

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 表内の数値は画像の縦横比が 4:3 のときの値です。縦横比を変えると（□85）、4:3 のときよりも 1 画像の容量が小さくなるため、撮影できる枚数は多くなります。ただし、[M2] では 16:9 にすると 1 画像の記録画素数が 1920 x1080 になるため、4:3 より容量が大きくなります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	8 GB	32 GB
1920 60	30 分 03 秒	2 時間 01 分 27 秒
1920 30	43 分 29 秒	2 時間 55 分 43 秒
1280 30	2 時間 03 分 55 秒	8 時間 20 分 32 秒
640 30	5 時間 14 分 34 秒	21 時間 10 分 33 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が［1920 60］［1920 30］［1280 30］では約 29 分 59 秒、［640 30］では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 6 以上のカードを使用することをおすすめします。

ストロボ調光範囲

もっとも広角側（W）にしたとき	50 cm – 3.5 m
もっとも望遠側（T）にしたとき	1.0 – 2.0 m

撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側（W）にしたとき	もっとも望遠側（T）にしたとき
AUTO	–	5 cm – ∞	1 m – ∞
（スポーツ）	–	1 m – ∞	6 m – ∞
（水中）	（水中マクロ）	5 – 50 cm	–
	（水中クイック）	1.5 – 20 m	1.5 – 20 m
上記以外	（通常）	5 cm – ∞	1 m – ∞
	（マクロ）*	5 – 50 cm	–
	MF *	5 cm – ∞	1 m – ∞

* 撮影モードによっては、選択できません。

連続撮影の速さ

撮影モード	連続撮影モード	速さ
P	(連続撮影)	約 3.8 枚 / 秒
	(AF 連続撮影)	約 1.0 枚 / 秒
	(LV 連続撮影)	約 1.0 枚 / 秒
(H 高速連写)	(連続撮影)	約 14 枚 / 秒
	(AF 連続撮影)	約 5.1 枚 / 秒

シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 – 1/3200 秒
[Tv] モードで設定できる値（秒）	15、13、10、8、6、5、4、3.2、2.5、2、1.6、1.3、1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000、1/2500、1/3200

絞り

F 値	F3.5 – F8.0 (W)、F6.8 – F8.0 (T)
[Av] モードで設定できる値*	F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F6.3、F6.8、F7.1、F8.0

* ズーム位置によっては、選べない絞り数値があります。

バッテリーパック NB-6L

形式：　　　リチウムイオン充電池
公称電圧：　DC 3.7 V
公称容量：　1000 mAh
充放電回数：約 300 回
使用温度：　0 － 40℃
大きさ：　　34.4 x 41.8 x 6.9 mm
質量：　　　約 21 g

バッテリーチャージャー CB-2LY

定格入力：　AC 100 V － 240 V（50/60 Hz)、
　　　　　　0.085 A（100 V）－ 0.05 A（240 V）
定格出力：　DC 4.2 V、0.7 A
充電時間：　約 1 時間 55 分（NB-6L 充電時）
充電表示：　充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯（2 灯式）
使用温度：　0 － 40℃

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。

索引

【さ】

【ま】

【ら】

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 5 年間です。
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標、ライセンスについて

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™ および Wi-Fi Protected Setup™ は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
050-555-90005
受付時間：平日 9：00 ～ 20：00
土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/cdc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。
http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDP-J515-010